

やましろ健康医療生活協同組合

2024年度通常総代会議案書

2024年6月23日（日）
午後1時30分～4時20分
あさくら診療所多目的ホール

総代会日程

- 1 : 3 0 開会
 - 3 1 議長選出
 - 3 2 議事運営委員・資格審査委員選出
 - 3 3 書記任命
 - 3 5 理事長あいさつ
- 1 : 4 0 資格審査委員会・議事運営委員会報告
- 1 : 4 5 記念講演 あさくら診療所30年を振り返って
- 2 : 1 5 議案提案
 - 第1号議案 2023年度事業報告書・決算関係書類承認の件 P1-40
 - 第2号議案 2024年度事業計画及び予算決定の件 P41-48
 - 第3号議案 あさくら診療所土地取得の件 P49
 - 第4号議案 役員選任の件 P49-50
 - 第5号議案 役員報酬決定の件 P50
 - 第6号議案 議案議決効力発生の件 P50
- 4 5 監査報告
- 5 0 休憩
- 3 : 0 0 審議
 - 5 0 資格審査委員会・議事運営委員会報告
 - 5 5 採択
- 4 : 1 0 第1回理事会報告 理事長・常務理事選任報告
 - 1 5 新任理事・退任理事あいさつ
- 4 : 2 0 閉会

第1号議案

2023年度事業報告・決算関係書類承認の件

I 事業活動の概況

1. 主な事業の内容

事業種目	主な事業品目等
医療事業 福祉事業	外来診療(医科・歯科)・在宅医療・訪問看護・健診 居宅介護支援(ケアマネジャー)・訪問介護・通所リハビリテーション・訪問看護・居宅療養管理指導
医療福祉等附帯事業	「いつでも元気」等の書籍・パンフレット販売、歯ブラシ等の販売 健康大学・多目的ホール等の使用

2. 岸田内閣の安全保障・医療政策とやましろ健康医療生協の活動の概要

やましろ健康医療生協が加盟する全日本民主医療機関連合会は、2023年6月7日創立70周年を迎えました。宇治出身の山本宣治の通夜の席上で集まった人々によって、その死を悼み労働者農民の病院をつくれというアピールが発せられ、民医連の前身である「無産者診療所」が設立されました。その後日本は太平洋戦争に突入し、無産者診療所も政府の弾圧で廃止となりました。敗戦後、民診(民主診療所)は各地で設立され1953年に「全医連」(全日本民医連の前身)が結成され22県117事業所が加盟しました。その年の8月14日に京都民医連が結成されました。やましろ健康医療生協は1993年7月25日に設立総会を行い、翌1994年9月1日あさくら診療所が診療を開始しました。今年、診療所開設30周年となります。多くの組合員、地域や団体の方々に支えていただき、今まで、この地で医療・介護活動を行ってきました。昨年、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、感染者は減る事を知らず、多くの組合員さんや地域の方々も、感染対策の取組を継続し続けました。感染症の対応に伴い、生活の様相も大きく変わり、医療生協が基本にしてきた組合員さん相互の交流も希薄になりました。改めて人と人のつながりを強めていく事の大切さを痛感しました。

民医連綱領の冒頭で、「私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。」と宣言し、その目標の1つに、「人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります」を掲げています。ロシア・プーチン政権によるウクライナ侵略は2年にわたり、イスラエルのガザでのジェノサイドは、軍事大国であるロシアとアメリカの「ダブルスタンダード」によって国連憲章と国際法がないがしろにされ、今もなお多くの市民が命を落としています。やましろ健康医療生協は非戦を訴え続け、あらゆる戦争をやめさせる取組を進めていきます。

元旦に発生した、「能登半島地震」では、多くの住民が被災し、尊い命が奪われました。多くの被災地が長期にわたり、苦難を強いられています。やましろ健康医療生協では、組合員の方々に、義援金の訴えを行い、ご協力いただいた15万円を民医連を通じて募金を行いました。また、石川民医連の職員は、自ら被災し、事業所に寝泊まりして、医療・介護活動を継続しています。被災された民医連職員に、募金を集め、直接送金を行いました。まだまだ長期化する被災地への支援を継続したいと思えます。

政府は2023年度中に従来の健康保険証からマイナンバーによる義務化を打ち出しました。マイナンバーと健康保険証を強制的に紐づけし、医療機関の受診時にマイナンバーの提示を強引に進めてきています。あさくら診療所では、医科・歯科でそれぞれ健康保険証の読み取り機を新たに設置し、マイナンバーでも保険診療が可能な条件を整えました。しかしながら、多くの患者さんはマイナンバーによる受診はされず、従来の健康保険証を提示されています。また、公費の医療証は、カードリーダーでは読み取りは出来ず、受付での提示をいただく事となり、患者さんにも、窓口の職員にも新たな負担となりました。11月の国の調査では、この制度を押し進めてきた公務員の受診でも10%にもならない状況です。また、個人開業医の方からは制度運用が困難でこの際、医療機関を閉める判断をされているところも出てきています。改めて一度立ち止まって、この制度を作り直す事を求めます。

10月からインボイス制度が開始されました、また、2024年1月に電子帳簿保存法も併せて実施されました。やましろ健康医療生協は課税法人として、この制度に準拠する登録や環境の改善を進めてきました。インボイスを登録されていない事業所との取引では、消費税分を支払う事となり、消費税分が上乘せされる現象となります。健診事業所や自費での扱い時に、インボイス番号の記載・消費税分の明示が義務付けとなり、制度に準拠した改定を実施してきました。中小零細企業や個人事業者(芸術・美容・他)などは、この手続きの負担が大きくなり、事業の継続が困難となる方も発生してきています。

2024年4月には介護報酬改定と6月には診療報酬改定と一部の介護報酬改定が実施されます。政府から諮問された内容に基づき、準備を進めていますが、内容は、医療・介護の費用抑制が基本となっており、医療従事者と患者さんに大きな負担となる内容です。医師の長時間労働の改善、医療従事者の不足は、この間のコロナ禍で大きくクローズアップしたにもかかわらず、より一層社会保障費の抑制の政策となっています。介護では、在宅での生活を支える訪問介護で単価の切り下げが実施され、介護労働者の賃金を上げる事も困難となり、訪問系の介護事業所は閉鎖を余儀なくされる状況となります。介護労働者の賃金改善・労働条件の改善が必要な時に、その財源を切り下げることで、必要な介護を受ける事も困難となりかねない内容です。

やましろ健康医療生協では、地域で最後まで住み続けられる事を重視し、サービスの提供者もやりがいを持って事業が推進出来るよう、医療・介護・福祉の充実に組合員のみなさんや地域の各団体と連携を強める事に努めていきます。

3. 事業の経過とその成果

【あさくら診療所医科】

- ・政府は5月より新型コロナウイルス感染症を5類に移行をしました。この対応をうけつつも、感染対策は継続し外来診療、在宅診療、通所リハビリテーション、訪問看護の展開を考えながらの1年となりました。
- ・当診療所の発熱(感染)外来者数は5月を底(26件)にその後50件を下回ることもなく100件を超える月もありました。人の流れが元に戻り、新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザやほかの感染症も拡大が見られました。スタッフ家族の感染が多くまたスタッフ自身も感染するなどの突発休暇がある中協力しながら乗り越えることができました。
- ・患者件数は、月平均1,031人で前年より若干の減少となりました。延べ患者数は月平均1,297人、1日平均患者数は平均58.8人で前年より若干の回復となりました。
全医療行為に占める割合は、基本料算定11.9%、指導料16.7%、在宅料27.2%、投薬料20.7%、検査料17.6%、画像診断1.0%でした。前年比較で、基本料、指導料、投薬料で減少、在宅、検査、院外処方が増加となりました。
- ・慢性疾患に対する医療は、患者さんへの支援体制の確立と支援水準を高めるために運用基準の改定に診療所として取り組みました。個々の患者さんについて、疾患別の治療計画および治療方針を明確化しました。患者さんの疾患理解向上の為、疾患教室の開催をしました。
- ・外来診療、予約外来は、前年度からの課題である①待ち時間の短縮、②外来診療の円滑化に関する議論を行い、外来前日に予約のあった患者さんのカルテを精査して当日の診療に生かせるように工夫するなどの業務改善の努力をし、業務の円滑化をはかって待ち時間の短縮の努力を行ってきました。引き続き、外来診療終了から、会計までの待ち時間の短縮のため努力を行います。
- ・月1回の看護師カンファレンス、職員会議での気になる患者さんの討議、医師を含めた全職員でのカンファレンスにおける問題点の抽出と分析を行い、具体的な支援体制について、包括的なSDH(健康の社会的要因 病気の背景には生物学的な要因だけでなく、社会的要因 教育・就業・生活環境・社会環境が存在する。)の視点から討議してきました。地域訪問(独居の高齢者や老々世帯などの患者さんを対象に日常生活の困りごとなどを聞くため自宅の訪問)も開始しました。
- ・診療所で初めて京都民医連主催の看護研究の発表ができました。京都民医連主催の学習会の参加や看護ラダー研修(看護師がより上のレベルに到達するためにステップごとに目標を示したものの。)の参加や毎月所長を交えての患者カンファレンスを継続しています。このような取組は、看護師個人の自己研鑽から診療所全体へのスキルアップの学習になっています。

- ・後期高齢者の 2 割負担が導入されました。医療費負担の不安解消のひとつとして「高額療養費制度」の案内を、予約外来の患者さんにはカルテにはさみこみ、それ以外の患者さんには受付で制度の案内と手続きについてお知らせしました。
- ・公費取得を通じて患者さんの医療費の負担軽減に努めました。後期高齢者の受診者のうち、月平均で 30.6 人（後期高齢者の 6.2%）の患者さんが身体障害者 1 級、2 級で重障老人に該当しておられます。後期高齢者以外の方では月平均で 19.9 人（全患者件数の 1.9%）の患者さんが重度心身障害者医療（43 公費）を利用されています。老人医療（41 公費）を受給しておられる患者さんは、月平均で 23.6 人（65 歳～69 歳の患者件数の 21.1%、全患者件数の 2.3%）がこの制度を利用されています。
- ・在宅医療では、患者さんの高齢化が進み、進行癌や脳・心肺疾患の進行によって日常生活動作（ADL）が低下し、通院困難となって在宅に移行する方が今年度は多くみられました。新規の訪問診療は 54 件増えました。2022 年度 40 件、2021 年度 29 件と比べ大幅な増となりました。重症の患者さん（がん末期、バルーンカテーテル尿道留置、気管切開後、在宅酸素使用、人工呼吸器使用、頸髄損傷、褥瘡処置、労災のじん肺など）についても、受け入れの条件や使用する医療材料・衛生材料について入院中の病院、介護支援事業所、訪問看護ステーション等にも問い合わせを行い、全ての患者さんを受け入れました。
 頸髄損傷の患者さんや、気管切開、がん末期の患者さんについては、退院時のカンファレンス（Zoom 含む）にも河本所長、看護師が参加しました。こうした対応もあり、地域の他の医療機関からの紹介・依頼も増えています。
- ・特定健診は目標人数を 1000 人で取り組みましたが、結果は 925 人でした。2022 年度に課題であった電子カルテの使用については、入力、検索、データの読み取りなどの操作の習熟が進み、大きな混乱なく運用できるようになりました。また、ポスター掲示やはがき送付、昨年度実施できなかった電話での受診促しも全スタッフで行い実施すべきことは実施しましたが、目標人数達成には至りませんでした。但し、特定健診の全国と京都府の受診人数比較では、受診数でも 80%以上維持しており、京都府・全国平均を上回っており評価できる人数でした。（対象者に占める受診者数の割合は全国平均 36%、京都平均 32%）
- ・がん健診（大腸癌健診）を特定健診全体の 60%施行できるよう目標にしました。2023 年 494 名 53.4%であり、目標達成できませんでした。2022 年は大腸癌健診 48.8%であり、2 回法が困難な人には 1 回法での提出を促した結果、大腸癌健診 1 回法 2022 年は 6 人 2023 年 15 人と 2.5 倍となりました。このことは評価できると考えます。
- ・通所リハビリは、日々の利用者の状況や問題点を理学療法士と共有して具体的な解決策をたてています。月 1 回の看護師カンファレンスで情報の共有を行い、問題点の共有と個々に合わせた必要なリハビリや安全に配慮した援助を行える様に話合っています。医師との話し合いが必要な患者さんは医師とのカンファレンスも行うようになりました。通所リハビリ委員会の会議では、看護師カンファレンスで検討した内容や問題点を出し合い、個々に合わせた具体的な解決策を話し合い解決しています。
- ・あさくら診療所の訪問看護は、土日祝の訪問がなく 24 時間対応も出来ないため、時間外での対応は難しいのですが、あさくら診療所が主治医の患者さんには、往診での対応でフォローをしています。日々の看護の中で状況を報告し、月に 1 回の看護師部会でも利用者さんの状態を報告し、気になる利用者さんについて話し合いを行っています。
- ・今年度の特徴的なケースとして、①認知症があり、ADL 自立、車の運転も可能な状態の患者さんが、その危険性を理解できずに運転し続けている事、車の免許も更新でき、強制的にやめてもらうなどの措置が出来ない事など、様々な問題を抱えていた独居の男性。②夫が入院中で難聴もきつくと認知症があり理解に乏しく、金銭管理ができない女性の受診や検査、入院などに対してもケアマネ（居宅介護支援専門員）と密に連絡を取り、ヘルパーや後見人への連絡などを行ってもらい、訪問看護の日程も調整し関わったケース。③夫と二人暮らしだが、コロナ陽性となり主治医から入院加療の指示がありましたが、入院できず、点滴加療必要なためあさくら診療所では週末の対応ができないため、24 時間対応の訪問看護事業所に依頼したケースなどありました。

- ・ 班会や懇談会への参加、法人内だけの取り組みを超えて宇治市の取り組みへの協力（あさぎりフェスタ）や環境問題（PFAS）への取り組み行いました。総代の方の協力や組合員さんから温かい言葉が励みになっています。

今年度は以下の事項について強化・具体化を進めていきます。

- ・ 待ち時間対策や、安心安全の医療・看護・介護を提供し、予防活動も力をいれます。患者の人権を尊重し包括的にとらえられるよう引き続き取り組んでいきます。
- ・ 患者さんが主体となる（慢性）疾患の対策および継続的支援に努めます。具体化として、①治療計画書の作成、生活習慣病疾患教室の定例化（1回/2か月の開催）を実施、②疾患パンフレットの整備及び改定。③疾患パンフレットを用いた指導をおこないます。
- ・ 今後も重症化した患者さんの在宅療養への要望が増えていくと考えられます。訪問診療の照会・依頼には退院当日の往診も含め、迅速に対応します。ご本人が最期まで在宅で家族と一緒に過ごせるよう、他医療機関、訪問看護ステーション、介護支援事業所などとも連携をすすめます。ご家族（介護者）の健康にも配慮します。
- ・ 特定健診は現在のアプローチ方法では受健者は増加しているが目標の1000人は届かないと評価しています。目標達成のため、新規受健者獲得できるよう、ホームページの活用など考えます。
- ・ 事業所健診はその日の問診～診察を充実させます。結果のフォローの見直しの評価を行っていきます。
- ・ 当生協の組合員さん、組合員家族の健康維持向上を目標に組合員健診を継続します。
- ・ 通所リハビリは、定期的な看護師カンファレンスで利用者さんの状態を把握して、個々に合わせた必要なりハビリや安全に配慮した援助が行えています。定期的なりハビリ評価を行い、計画書を作成し、個人の要望にあった生活リハビリを基本とした、生きがい、やりがいがある生活が送れるサービスを提供していきます。
- ・ 訪問看護は、必要時にカンファレンスを行い、分析、修正しながら個々の利用者さんにあった看護を展開できたと思います。しかし、現在認知症を抱えながら独居生活を続ける利用者が多く、金銭面での困難事例が見られています。直面した時に早急に対応できるよう、今後も主治医やケアマネとの連携を密にとっていきます。
- ・ 窓口負担の増加や医療制度改悪がすすむ中、高額医療費、身障手帳の取得、特別障害年金の申請、生活保護申請、自立支援医療の申請など、医療にかかりやすい制度利用についても引き続きすすめていきます。

【ケアステーションあさくら】

- ・ 今年度は職員の体制が24年1月より非常勤1人の退職により常勤換算が2.6人から2人に変更になりました。予算を達成することはできませんでした。
- ・ 2023年度の給付管理票作成数は、介護給付1,004件（-61件）、介護予防給付230件（-20件）という結果でした。1ヶ月あたりの給付管理票作成数は、介護給付83件、介護予防給付19件でした。要介護認定の内訳では、要介護1・2が76%（前年度74%）、要介護3～5は24%（26%）と年々軽介護者の占める割合が増えています。新規ケースは、15件（-24件）、介護給付11件、予防給付4件でした。月平均は、1.25件でした。新規ケースの紹介や依頼は地域包括センターやあさくら診療所、組合員さん、各病院相談室、家族等から直接依頼がありました。終了ケースは、18件（施設入所・入院後転院、在宅死・入院後死亡16件、居宅介護支援事業所の変更2件）でした。認定調査の依頼は、15件でした。相談は17件でした。下半期は職員の退職により新規の受け入れが困難だったため相談にいたらなかったケースが数件ありました。
- ・ 11月に初めて宇治市からの運営指導を受けました。運営規定や契約書、重要事項説明書等の見直し、ケアプラン作成にあたっての一連の業務について見直す機会となりました。
- ・ 今年度は、新型コロナウイルス感染が5類に移行されたこともあり、各サービスでも色々な面で感染予防の対策が緩和されました。コロナ禍前のようにデイサービスや通所リハビリテーションでのレクリエーションや体験利用も通常通り行われるようになりました。しかし、感染がなくなったわけではなく、利用者さんも職員も感染がありました。利用者が感染されたケースでは必要に応じて訪問系のサービスを継続して利用することができました。ほとん

どのケースが重症化することなく回復されましたが、入院期間が長くなると心身の機能が低下された状態で退院され、コロナウイルス感染前の状態に回復するまでに時間を要されています。職員が感染した時は、他の職員で業務を分担し、業務を継続することができました。

- 担当しているケースで、入退院を繰り返していた利用者さんと認知症のある介護者が主治医のあさくら診療所やサービス事業所と連携し自宅で看取ることができたケースがありました。ご夫婦が認知症を患っていたため在宅療養は困難と各機関が認識していたのですが妻の「家で夫と暮らしたい。」という強い思いを尊重できたケースでした。
- 理解力の低下した身寄りのない利用者さんの在宅療養を主治医のあさくら診療所や訪問看護が疾患管理を担い生活面は訪問介護、金銭等の管理は権利擁護が係り在宅療養を支えています。ご本人の理解力や判断力の低下が進み身寄りもないため成年後見制度を申請し時間はかかりましたが後見人がつくことができ各機関と連携を取りながら在宅生活の支援を継続しています。
- 長期にわたり独居で生活されていた利用者さんが自宅で倒れ、救急搬送後に亡くなってしまったケースが2件ありました。高齢でも独居で過ごされている利用者さんが増えています。別に暮らすご家族と独居で過ごすリスクや急変時の対応方法を話し合っておく必要があると考えます。
- 医療依存度が高く処置やケアが多くサービス調整が困難なケースや持病や認知症を患いながらも独居で療養生活を続けているケース、介護者が認知症や疾患を患いながら在宅療養を支援しているケース、難病、キーパーソンとなる家族が近くに住まれているいないケース、高齢化が進み介護者も要介護要支援認定を受けている世帯のケース等様々な問題を抱えたケースの支援を続けています。
- コロナ感染の影響で、入院中の病院に出向き退院後のサービスを調整し退院後の療養生活が円滑に行えるようなケアプランを作成することが困難な状況が続いていましたが、徐々に退院時カンファレンスが開催されるようにもなりカンファレンスにも参加できました。
 - 今年度も様々な研修や学習会に参加しました。会場に集まっていた研修も増えてきていますが、リモートでの研修や諸会議の参加は移動の時間が短縮され有効に時間が使えています。

【さぼーと ゆう・ゆう・ゆう】

- 2023年5月から新型コロナウイルス感染症が、5類への類下げになった以降も現場での感染症対策はコロナ類下げ前と変わらず同じように続けてきました。2023年、利用者さんのコロナ感染状況は5人、ヘルパーが1人でした。家族からの感染や入院した病院から感染しその後亡くなったケースもありました。コロナが流行しつつ、同時に秋の早い段階からインフルエンザが流行し子供の感染や学級閉鎖などで職員も休まなければならない状況もありました。
- 選ばれる事業所にするにはどうすればいいのかの実践として、「依頼があった利用者を断らない」事業所を実践しました。「さぼーと」の所在地が城陽市にあるため城陽市の居宅介護支援事業所からの依頼が多いのですが、現在、包括支援をセンター含めて18の居宅サービス提供事業所と連携しています。中には困難なケースもありどこのヘルパーステーションも受けてくれなかった。「さぼーとゆう・ゆう・ゆうであれば受けてくれるのでは？」との事で依頼があります。困難なケースを受けることで難しい問題をクリアしていく人間力やチームとしての結束力、ヘルパー一人一人の経験値が高まり自信にも繋がりました。
- 利用者さんの1日、1日の「生活を支えて守る」の実践を続けています。利用者さんの体調変化、サービス提供の在り方、介護状態の変化に迅速に対応し、地域の事業所と連携し、見直し・改善をすすめてきました。
- サービス提供責任者の体制については2023年6月に1人のサービス提供責任者が退任し7月からヘルパーとして再雇用しましたが、7月からはサービス提供責任者は2人体制となり、スタートしましたが、3人で行っていた業務を2人で行うようになり、担当利用者数が増加し、訪問回数も増えヘルパー業務をしつつ、合間に実務業務を行うというハードな業務形態になりました。
- 月1回の例会とヘルパーへの研修を実施しました。基本に立ち回り、報告、連絡、相談の大切さを共有しました。ヒヤリハット事例を共有。ミスした時の振り返りと問題点の整理、今後の方針をチームで確認しました。感染症、高齢者虐待、ハラスメント、認知症など法定された基本の研修は

必須研修として実施し、事例検討を用いて、介護方法や、共通認識の確認、意見交換を活発に行い、サービスの質の向上に努めてきました。

- ヘルパーの外部研修として宇治久世医療介護連携センター主催の看取りの研修に5人のヘルパーが参加しました。
- 令和6年度4月からハラスメント・虐待防止・感染症の指針の作成。BCP（感染症、自然災害時の業務継続計画）の作成など4月から義務化となるため整備しました。
- 高齢化の進行とともに生産人口（働く人の数）が減少している中、特に訪問介護員の人手不足が大きな問題です。ヘルパーの確保は困難を極めて喫緊の課題です。ヘルパーも高齢化が進み「さぼ一と」の現状は60代～70代のヘルパーが11人。30代～50代が5人です。20代は0人。高額な手数料を取る人材派遣会社からの電話が毎日のかかってくるようになりますが手数料を払うほどの資金もなければ、お金を払って来てもらってもすぐに辞めてしまうケースもありリスクが伴います。
- 在宅での看取り介護が増加しています。看取り介護は利用者と家族、主治医、訪看、ヘルパー、福祉用具等、しっかりとした多職種連携が必要です。密な連絡とスムーズな連携が重要で、全ての事業所が同じ方向を向いて利用者と家族に寄り添うことが大切です。看取り介護に積極的に関わり介護職員も多く経験の積まなければならないと思います。
- 認知症の利用者が増加しています。特に初期～中度。要介護1～3の利用者が多いです。認知症の症状は十人十色。記憶障害があるといってもその程度は様々です。様々な感情、思いがあります。拒否や怒りなどの感情をぶつけてこられる利用者さんがおられますがそこには理由があるはずで、そのような場面でもきちんと対応できる、専門的な知識と理解ある介護職員を育てなければなりません。
- ヘルパー・介護福祉士の専門性を探求し、介護人材を育てる。そして介護の魅力を発信できる職員と職場作りが課題です。
- 将来的な次世代へ繋げるための管理者やサービス提供責任者の育成が出来ていません。人材不足、資金不足を理由に棚上げにしているのは事業継続が困難になるのは間違いありません。

(1) 利用者動向 【利用者の状況】

	要介護			要支援（総合事業）			保険外			合計		
	件数	回数	単位	件数	回数	単位	件数	回数	時間	件数	回数	請求単位 / 時間
2023	353	6163	20119 89	284	1729	4481 71	30	47	60 : 00	667	7939	2460160/7231:79
2022	321	5900	18650 31	267	1588	4001 69	21	25	30 : 25	609	7513	2265200/6651 : 35
2021	348	6555	19756 67	307	1865	4750 33	24	51	47 : 15	679	8471	2450700/7950 : 00

- 現・要支援（総合事業）の利用者さんの支援は継続するが、総合事業者枠が20名のところ、現在23名。すでにオーバーしているため新規は受け入れられない状況。要介護の利用者さんを積極的に受け入れるためにも、総合事業の人数を将来的には一桁台と考えていたが必要とされている現状があるため、枠内分は受け入れざるを得ない状況です。
- 利用者の状況は、今年度、入院された方が30人（'22年25人、'21年29人、'20年30人）おられ、サービス終了（施設入所・死亡等）は9人（'22年9人、'21年12人、'20年6人）となりました。新規利用者は21人（'22年12人、'21年8人、'20年16人）でした。内訳は、自法人（やましろから）の依頼は1人（'22年3人、'21年3人、'20年9人）、他法人からの依頼は22人（'22年5人、'21年5人、'20年7人）でした。
- 今年度は入所、死亡が10人でした。
- 要介護の人数は30人前後とあまり変動がありません。要支援枠が20人の定員でマックス。要介護の枠をもっと広げる必要があります。訪問回数も550回をめぐりにさらに増やしていきます。要

介護度が重い人が増えてきているのと認知症の方が増えてきています。認知症で見守りが必要な人も増加。デイの送り出し、迎え入れの依頼が多く、ヘルパーの朝、夕の時間を確保するのに苦慮しています。

(2) ヘルパー体制

- ヘルパーの体制は、2023 年度の新規採用は 0 人。管理者 1 人、サービス提供責任者 1 人、ヘルパー 14 人。合計 16 人です。
- ヘルパー不足の問題は喫緊の課題。更にヘルパーの高齢化問題も平行して進んでおり、高齢ヘルパーが家では家族の介護をされている現状があります。家族への介護時間が増えると仕事を辞めざるを得なくなり、事業所としても大切なヘルパーさんを失うこととなります。人材不足の中、高齢のヘルパーさんの存在はとても貴重です。しかし高齢に伴い、働くうえで精神的にも体力的にも年齢によって様々な問題が出てきます。ヘルパーの健康維持にも考慮しながら事業運営が必要です。他の対策として施設では男性職員や外国人職員の採用がありますが、訪問介護ではまだまだ少数ですし、利用者の理解を得るのに沢山の問題があります。
- 月 1 回の例会を行い、計画に基づいた研修や、法令の順守・手順やマニュアルの再確認と見直しをすすめてきました。日々の問題や課題を挙げて積極的な意見交流と事例検討会をしています。民医連の職員学習に使用されている e-ラーニングのソフトを使いケアスタッフ向け研修を個人研修時に行っています。学習したい内容には個人差もあるため、各自 YouTube を視聴する場合があります。
- 申し送りの再確認、事例に基づいたケアの仕方などの見直しを共通認識にするなどして、サービスの質の向上に努めてきました。

【あさくら診療所歯科】

- 2023 年度は所長交代と医師体制の変化という大きな転換点となりました。合わせて、歯科衛生士や往診運転手の採用、技工体制も変化しました。この一年はそれぞれの職種が、自分の持ち場で最大限の力を発揮して、地域患者さん、組合員さんへ口腔ケアの意識を高めることを目指しました。歯周病と全身の健康状態の関連が、より強く指摘されるようになったためです。
- 今期は補綴物の作製数自体は増加したものの義歯作製数が減少しています。また金パラ価格(歯科用金銀パラジウム合金価格)は高止まり状態であることに加え物価上昇に歯止めがきかず、経営の圧迫の大きな要因となっています。そのため治療中心の歯科医療のみではなく治療の後のケア、および全身の健康を守るための口腔ケアも含めた医療活動にシフトし、そのうえでの安定的な運営と経営が求められます。また、在宅診療の強化や医療生協の特性を活用した地域での活動など幅の広い視野が求められ、口腔機能管理などのスキルアップも必要とされています。
- 少子高齢化を表すように 41 公費(老人)・重障老人公費が前年度より増加し、44 公費(ひとり親)・45 公費(子育て医療費)が減少しています。
- 社保活動では、2022 年度より引き続き「保健でより良い歯科医療を」署名に取り組み、集めた署名は 5/25(木)国会集會に平田歯科医師が参加し提出されました。やましろニュースやリコール案内に折り込んで同封するなど、できることから進めた結果、1317 筆の署名を集め目標の 1000 筆を大きく上回りました。また PFAS 調査に歯科医師 2 人を含む多数の歯科職員が参加するなど、社会や環境が健康に与える影響にも目を向けました。
- 衛生士部
2023 年度は常勤衛生士 2 名、非常勤 5 名、非常勤助手 2 名でスタートしましたが、23 年 5 月に常勤衛生士が 1 名増えました。また 24 年 2 月非常勤衛生士 1 名退職しました。口腔ケアの需要の高まりに応じ、歯科衛生士の予約が取りづらくなりました。特に夜の歯科衛生士の予約が取りづらい状況が続いています。
6 月の虫歯予防月間のセールでは歯間ブラシと歯間ジェルをセットで販売しました。11 月、12 月と SPT ジェル(ハミガキ)のセールを行い、また数量限定でサンプルを付けました。12 月ピセラとルシエロ(いずれも歯ブラシ)の 5 本セットをセールで販売しました。
2023 年度は金曜日に往診枠が 1 単位増えました。併せて往診運転手の雇用により衛生士が運転

をすることなく治療が終わった患者さんにも様子伺いの連絡を入れ、定期的なサポートも行っています。

・ 技工部

前期は非常勤技工士の退職に伴い、技工士の不在となる診療単位が発生しましたが、今期は常勤技工士が京都民医連の仁和診療所より 1 人移籍した事で 1 週間穴が開くことなく業務をおこなっています。補綴物の使用金属の価格は高止まりし、保険償還価格への転嫁の時間差から販売価格が上回る「逆ザヤ」がたびたび起こる中、販売店と情報を密にとり、高額になる出費を少しでも抑えられるよう努力してきました。

- ・ 2023 年度は新型コロナウイルス感染症の 5 類引き下げとそれに伴う行動制限の解除により患者数、医療収入が増加しました。歯科医師体制は所長交代という大きな変更があり、未だ完全とはいえませんが徐々に安定していきました。また衛生士の入職に伴い歯周病治療の展開が拡大されました。その上で古くなって耐用年数が過ぎたチェアーなどの医療機器の更新は、経営の安定が不可欠とはいえ避けては通れない問題です。
- ・ 歯科としては赤毛歯科医師によるあさくら診療所での健康講座や、南木幡集会所での班会を行い、健康まつりでの歯科相談など、新型コロナウイルスによる影響から脱し始めました。また京都民医連全体では、高校生 1 日体験を 3 年ぶりに対面で行い、医療介護お仕事体験フェアへの参加などの展開がありました。そして、WEB で開催された第 23 回全日本民医連歯科学術運動交流集会上に動画発表も行いました。
- ・ SPT（メンテナンス）患者さんは月平均 157 人で前年より 19 人増加しました。患者さんからも「今の歯があるのは毎月ケアに来ているおかげ。」「毎月ケアしてもらい安心する。」などの声を頂いています。
- ・ 歯科往診は、赤毛歯科医師が火曜日の午前と金曜日の午後、中村歯科医師が水曜日の午後と金曜日の午前に往診を行いました。当初は衛生士の人員不足により歯科医師一人での往診があった為、往診運転手を採用し、歯科医師と衛生士がそろって往診できる体制を整えました。そして患者件数に変動があるため、医科やさぼーとゆう・ゆう・ゆう、ケアステーションあさくらと連携を取り、通院が困難な患者さんの歯科治療を行ってきました。
- ・ リコール（定期検診）は前年度と比較して患者数、来院数共に増加しましたが、来院率が減少しています。患者数に対し十分な診療枠を確保出来なかったことが主な理由です。また、未来院の理由は「忘れていた。」「日付を間違えた。」が大半を占めますが、他に「体調が悪かった・コロナに感染した」「家族の病気や不幸。」「入院することになった。」などがありました。ご本人が介護施設に入所していたり、亡くなられていたりする場合もありました。
- ・ 歯科送迎患者数は月平均で 41 人でした（延べ人数・キャンセル含まず）。年度を重ねるごとに増加しており、送迎の需要は高まっています。
- ・ 技工士体制が常勤 1 人体制になる中、歯科医師体制の変化により技工物は増加しました。そこで外注製作を減らしなるべく院内で製作するようにし、コストパフォーマンスを心掛けました。
- ・ 一部補綴物の外注先を変更しました。クオリティも良く価格も下がっています。技工室の材料も 1 年かけて見直し安価な商品や、購入するメーカーも変更することで支出を減らすよう努力しました。また、自費補綴物を増やすため料金表のリニューアル、自費サンプルの製作をしました。

4. 事業活動における財産・損益・設備等の状況

(1) 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
組合員数	4,917人	4,934人	4,930人	4,961人
出資金	58,095千円	58,615千円	57,950千円	56,865千円
医療事業収益	267,874千円	271,266千円	273,937千円	289,566千円
福祉(介護)事業収益	58,448千円	57,705千円	54,286千円	57,865千円

附帯事業収益	書籍供給収益	463千円	472千円	492千円	486千円
	医療雑貨供給収益	1,800千円	1,788千円	2,174千円	2,637千円
	施設使用収益	8千円	8千円	8千円	8千円
	その他附帯事業収	0千円	0千円	0千円	0千円
	経常剰余金	▲2,235千円	3,016千円	▲7,084千円	▲3,091千円
	総資産	277,486千円	274,873千円	265,325千円	234,836千円
	純資産	50,597千円	53,791千円	40,398千円	36,222千円
	自己資本比率	18.23%	19.56%	15.23%	11.6%

(2) 医療事業・福祉事業・医療福祉等附帯事業の状況

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
【医療事業収益】	267,874千円	271,266千円	273,937千円	289,566千円
外来・在宅収益	247,659千円	249,313千円	255,078千円	208,856千円
健診収益	13,727千円	14,046千円	13,221千円	12,950千円
その他医業収益	6,902千円	8,805千円	5,468千円	1,556千円
保険等査定減	▲415千円	▲898千円	▲1,268千円	▲695千円
【福祉事業収益】	58,448千円	57,705千円	54,286千円	57,865千円
訪問サービス収益	31,307千円	30,978千円	28,967千円	31,891千円
通所・居宅サービス収益	11,734千円	11,915千円	11,096千円	12,819千円
その他の福祉収益	15,406千円	14,812千円	14,234千円	13,156千円

(3) 増資及び借入れその他の資金調達状況

出資金等、経常的資金調達以外はなし

(4) 組合が所有する施設の建設又は改修その他の設備投資状況

顔認証システム 医科 495,000円・歯科 487,520円

スペースライン（診療用チェア） 歯科 2,730,000円

(5) 他の法人との業務上の提携

該当なし

(6) 他の会社を子法人等及び関連法人とすることになる場合における当該他の会社の株式又は持ち分の取得

該当なし

(7) 事業の全部又は一部の譲渡又は譲り受け、合併その他の組織の再編成

該当なし

(8) 教育事業等の状況

当期に繰り越された教育事業等繰越金はなし

II 運営組織の状況

1. 前事業年度における総代会の開催状況

総代会開催日	2023年6月25日（日）	
総代会日現在総代数	120人	
出席総代数	本人	59人
	代理人（委任状）	1人
	議決権行使書	46人
	合計	106人
重要な議事及び議決事項		
①2022年度事業報告・決算関係書類承認の件		

- ②2023年度事業計画及び予算決定の件
- ③役員報酬決定の件
- ④議案議決効力発生について

2. 組合員に関する事項

組合員出資金等増減表

区分	組合員数	出資口数	組合員出資金総額
前期末現在	4,930人	11,590口	57,950,000円
当期増加分	60人	73口	365,000円
当期減少分	29人	290口	1,450,000円
当期末現在	4,961人	11,373口	56,865,000円

3. 役員に関する事項

役員一覧表

役職名	常勤・非常勤の別	氏名	担当・略歴等
理事長 (代表理事)	常勤	河本 一成	あさくら診療所管理者・医科所長
専務理事	常勤	堂本 吉次	京都府生協連理事 社会福祉法人栗隈福社会監事
常務理事	非常勤	宮本 繁夫	事業委員会責任者
常務理事	非常勤	田村 美智江	組織委員会責任者
理事	非常勤	井上 孝司	組織委員会
理事	非常勤	奥谷 よし子	事業委員会
理事	非常勤	桑原 国隆	事業委員会
理事	非常勤	小松 正明	広報委員会責任者
理事	非常勤	杉山 潔志	京都南法律事務所 弁護士
理事	非常勤	滝澤 松代	健康づくり委員会
理事	非常勤	中根 誠喜	事業委員会
理事	非常勤	能塚 耐子	健康づくり委員会・社会福祉法人栗隈福社会理事長
理事	非常勤	平林 英男	社保平和委員会
理事	非常勤	村松 秀一	社保平和委員会
理事	非常勤	森山 正博	広報委員会
理事	非常勤	藪田 秀雄	広報委員会
理事	非常勤	山崎 映子	組織委員会
理事	非常勤	山崎 恭一	社保平和委員会責任者
理事	非常勤	山本 いつみ	組織委員会
理事	非常勤	湯口 典子	健康づくり委員会責任者
理事	非常勤	若山 憲子	組織委員会

監事	非常勤	財前 徳三	あすかい病院臨床検査技師
監事	非常勤	西村 英夫	

*任期はいずれも 2024 年度通常総代会まで

4. 職員の状況

いずれも 2024 年 3 月 31 日

【あさくら診療所内科】

職種	常勤	非常勤(常勤換算)	合計(常勤換算)
医師	1人	7人(0.6人)	8人(1.6人)
看護師	6人	2人(1.2人)	8人(7.2人)
技士等		2人(0.1人)	2人(0.1人)
事務	4人	1人(1.0人)	5人(5.0人)
その他	1人	5人(1.1人)	6人(2.1人)
合計	12人	17人(4.0人)	29人(16.0人)

【ケアステーションあさくら】

職種	常勤	非常勤(常勤換算)	合計(常勤換算)
ケアマネジャー	2人		2人(2.0人)
合計	2人		2人(2.0人)

【さぼーと ゆう・ゆう・ゆう】

職種	常勤	非常勤(常勤換算)	合計(常勤換算)
ヘルパー	1人	15人(3.3人)	16人(4.3人)
合計	1人	15人(3.3人)	16人(4.3人)

【あさくら診療所歯科】

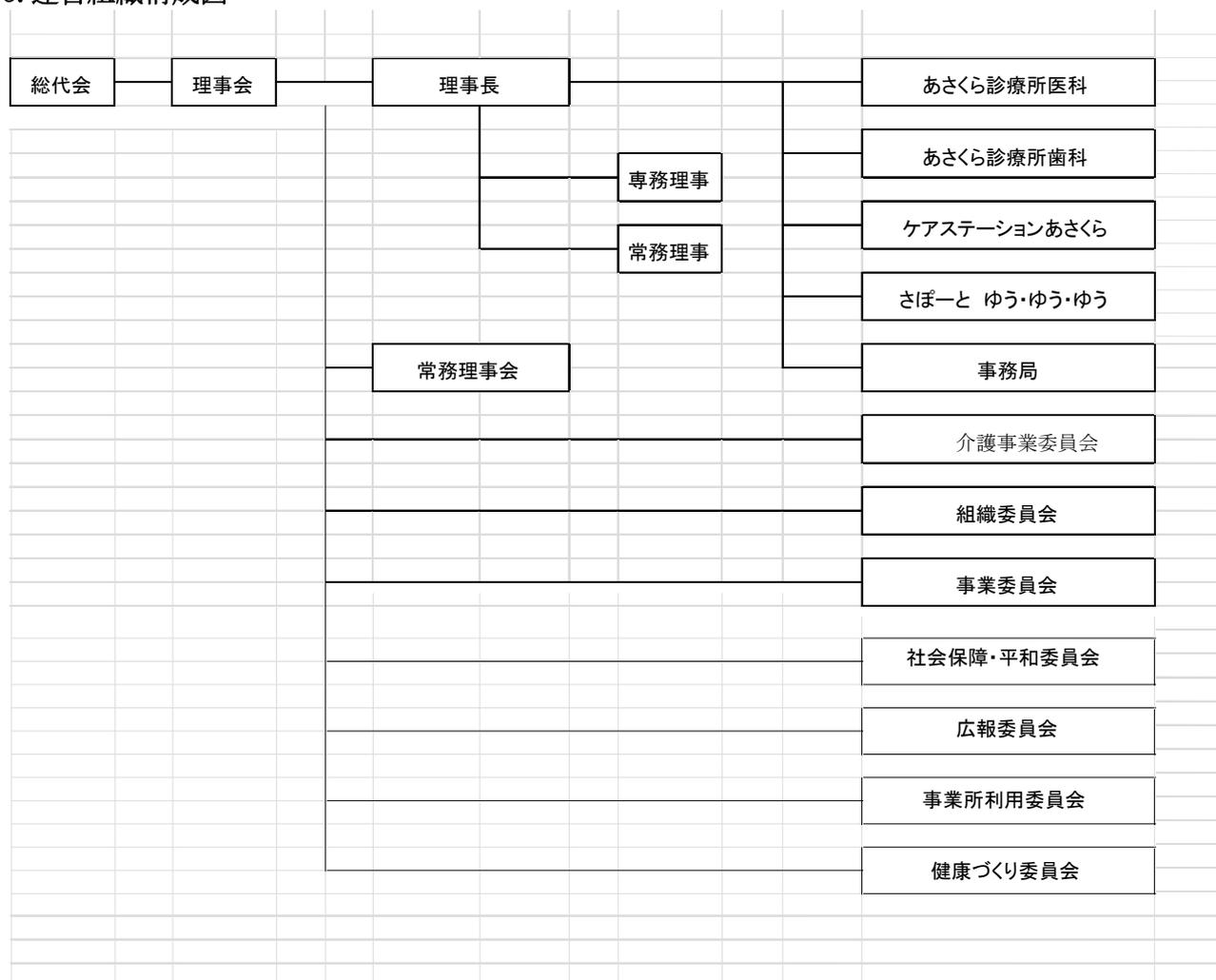
職種	常勤	非常勤(常勤換算)	合計(常勤換算)
歯科医師	3人		3人(3.0人)
歯科衛生士	3人	4人(1.8人)	7人(4.8人)
歯科技工士	1人		1人(1.0人)
事務	1人	1人(0.7人)	2人(1.7人)
合計	8人	5人(2.5人)	13人(10.5人)

【法人】

職種	常勤	非常勤(常勤換算)	合計(常勤換算)
合計	23人	37人(9.8人)	60人(32.8人)

2024 年 3 月 31 日現在

5. 運営組織構成図



6. 施設の状況

施設名	所在地	土地 (㎡)	建物延べ床面積 (㎡)	摘要
本部	宇治市大久保町山ノ内19-1			
あさくら診療所医科・ 歯科	宇治市大久保町山ノ内19-1	(1,990)	719.38	
	宇治市大久保町山ノ内20-8	(45.63)	203.48	
ケアステーションあさくら	宇治市大久保町北ノ山104 サンビーム大久保105		(39.73)	
さぼーと ゆう・ゆう・ゆう	城陽市寺田深谷35		(35.04)	

*土地・建物の()内は賃借

7. 子法人等及び関連法人等の状況

該当なし

8. その他組合の運営組織の状況に関する重要な事項

該当なし

9. その他組合の状況に関する重要な事項 なし

Ⅲ 委員会・事業所補足報告

【組織委員会】

- ・組合員数は4,961人になりました。年間加入は60人で退会が29人でした。

- ・ 今期の加入目標 50 人を達成できました。職員の加入促進もありましたが、理事、総代さんや、組合員さんが企画した懇談会や当法人の各事業所への利用紹介などから、加入がすすみました。引き続き、医科、歯科で行っている送迎希望や往診患者さん、サークルの再開で加入されています。退会の主な理由は、引っ越しや組合員さんが亡くなられた為などでした。
- ・ 新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行されましたが、引き続き、感染対策をとりながら、行事が再開されています。引き続き、コロナ禍で人とひとのつながりが薄れていく中で、孤独を生まない取り組みが出来ないか、組合員さん同士の繋がりを保つ取り組みが行えないか議論をしてきました。
- ・ 班会、懇談会、健康相談会、学習会は 18 回、延べ 240 人の参加でした。今年度の特徴として事務職員による「マイナンバーカードについて」3 回実施されています。高齢者の不安は「ちゃんと使えるのか」「暗証番号を忘れたらどうなるのか」「銀行登録がいいのか」「持たないままでいいのか」「保険証はなくなるのか、不安」の意見がありました。「マイナンバーカードの狙いや社会保障を削っていく国の動きを学習できた」との意見もありました。歯科医師による「保険でより良い歯科医療を求める請願書名」の協力依頼の話、「歯の健康について」の話をしました。地域自体の高齢化と医療を個人の問題とせず地域や社会の問題としてとらえることの重要性が感じられました。また、講義の後グループワークもされ歯の清掃に関することを模型とポイントブラシを使ってされ、技工士をグループに加えて入れ歯の事で質問も出ていました。看護師は「骨密度測定と話」の内容で 5 回実施しました。毎年開催している所では前回の骨密度の判定を覚えている方が多く関心の高さを知る機会となっています。はじめての班会に青谷地域で実施しました。「こんなにたくさんの方（26 名）が来られた」と言っておられ、組合員さんが少ない地域なので増やしていきたいと言ってもらえています。骨密度測定時には同時に健康体操もして楽しい班会となっています。コロナ 5 類になってからいろんな規制から緩和されて、笑い声がたくさんあったように感じました。
- ・ 10 月 1 日あさぎりフェスタに参加しました。「骨密度測定、血圧測定と健康相談」をしました。17 名のスタッフと 46 名の方が来られ組合員拡大月間の初日の盛り上がりになりました。
- ・ 組合員拡大では、班会や懇談会など地域の要求に応えた取り組みの中で加入を訴えました。また、各理事の関わる団体や労組などに申し入れをし、やましろ健康医療生協のリーフを使いながら、活動紹介をしたり、各事業所の意見を聞いたりしました。残念ながら、その取り組みそのものは、組合員拡大に結びつきませんでした。地域の人たちと交流する機会になりました。今年度は仲間ふやし月間中、理事、総代、職員がそれぞれの繋がりで組合員を増やしました。

【事業委員会】

- ・ 毎月のサークル活動については、新型コロナ感染症対応が 5 類に移行したもとでも、流行状況や感染リスクを鑑み、診療所としての感染予防対策のガイドラインに沿って実施してきました。絵手紙教室は再開、「健康体操教室」は 1 回開催（各回参加 10～15 名程度）しています。それ以外のサークル活動についてはひきつづき開催を見合わせています。
- ・ 健康まつりを 5 月 21 日に実施しました。半日開催、飲食・バザーなしでしたが、500 枚を超えるチケット販売があり、盛況となりました。当日は炎天下となり、熱中症対策に留意したものの体調を崩す参加者もおられ、引き続き参加者の安全維持に留意が必要です。
- ・ コロナ感染症拡大以降はじめて、8 月 23 日にサマーコンサートを開催しました。ウクライナの現地レポート動画の鑑賞とウトロ音楽隊による韓国伝統音楽の上演を企画し、50 名を超える参加がありました。平和問題への関心や文化交流の要望が大きいことがあらためて確認されました。
- ・ 日帰りレクリエーションについては、今年度も新型コロナ感染症の感染拡大をふまえて中止となりました。

【社保・平和委員会】

- ・ 社会保障、医療・介護を守る取り組み
2020 年から深刻化したコロナ禍において、それまで医療体制と保険行政を縮小してきた日本では、医療崩壊とも言える事態に陥りました。それなのに政府は、社会保障費削減をすすめ、診療報酬の引き下げ、患者負担の増加、介護保険の利用制限と利用者負担の増加をすすめています。そし

て政府は個人情報管理に疑念の残る中、2024年12月には現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を可決成立させました。マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民のいのちと健康が脅かされています。

その様な中で事業委員会と合同で「現行保険証を残してください請願書名」にも取り組み800筆以上の賛同を得ました。また、8/30(水)には「マイナ保険証学習会」を診療所ホールで開催し問題への理解を深めました。社会保障が1人ひとりの国民のためにしっかりと機能できるよう、制度の改善を目指し日々の活動に取り組みました。

また、黄燐の陸上自衛隊駐屯地で異常に高いPFASが検出されたことを切っ掛けとして、京都大学小泉名誉教授・原田准教授より実態調査の依頼を受け11/30(木)に学習会を、1/27(土)・29(月)にPFAS調査を実施しました。

・核兵器廃絶と平和を願う取り組み・・原水爆禁止世界大会への取り組み

2023年原水禁世界大会は現地とオンラインのハイブリッド開催となり、職員と組合員の派遣を検討したものの残念ながら感染リスクを鑑み現地派遣をせず、8/7(月)長崎大会開会総会の視聴会を診療所ホールにて開催しました。また毎年サマーコンサートにて、原水禁世界大会参加報告をしていましたが昨年に引き続き中止としました。代替としてDVD「戦地ウクライナの現実を直視せよ」西谷文和さんの上映会を行いました。

他に、6/23(木)は平和行進に参加し宇治市役所～城陽市役所間を行進しました。また通し行進者へ折り鶴のレイを贈呈いたしました。

・憲法と平和を守れ。の取り組み

医療生協「九条の会」は、毎年5月3日の憲法記念日に『洛タイ新報』に意見広告を掲載しています。2023年度で18回目となり、2023年5月3日(水・祝)に347人の賛同を得て掲載しました。

健康まつりでは社会保障と平和に関するポスター展示と民医連憲法アニメの上映を行いました。ウクライナやガザ地区(パレスチナ)への侵攻を非難するとともに、この侵攻を口実とした、軍拡・増税を阻止すべく活動を続けていきます。

・交通の不便な地域をなくす市民の会

車に頼らなければ暮らしていけないまちづくりが進む中で、市民の移動権を守ろうという市民運動が広がり「交通の不便な地域をなくす市民の会」が発足しました。医療生協は市民の会に参加し事務局を担います。

・駅頭宣伝

年月	場所	月	場所	月	場所	年月	場所
2023/4	中止	7	JR宇治	10	雨天中止	2024/1	近鉄寺田
5	京阪木幡	8	近鉄久津川	11	近鉄大久保	2	JR六地藏
6	近鉄新田辺	9	近鉄大久保	12	JR宇治	3	近鉄小倉

(2024年3/15(金)で通算247回となりました。)

2001年10月から開始した、駅頭宣伝は毎月第3金曜日に実施しています。9/15は宇治久世教職員組合と合同宣伝を、11/17は介護事業委員会と合同で介護ウェブ宣伝・ナースアクションに取り組みました。

「マイナ保険証の強制の反対」と「9条改憲を許すな」の宣伝を軸にしながら、「医療・介護従事者の処遇改善」「核兵器禁止条約の批准と署名」なども交え実施してきました。

・その他

委員会では、社会保障や核兵器廃絶に関わる情勢について、学習を積み重ねています。また、社会保障や憲法と平和について、生協ニュースを通して組合員さんへ情報提供・発信を行いました。また2024年1月1日に発生した能登半島地震に対しては募金活動を行いました。引き続き、委員の枠を広げながら取り組みます。

【広報委員会】

広報委員会の主な取り組み

- ・ 広報委員会は、毎月「やましろ健康医療生協ニュース」を発行しており、今年3月で364号になります。また、全日本民医連編集の月刊誌『いつでも元気』誌（現在111部）を取り扱っています。
- 「ニュース」の発行に当たって気を付けていること
- ・ 組合員が医療生協に関心を持ち色々な活動に参加するきっかけ作りや、健康管理、各事業所の利用促進につながるよう心がけています。

紙面づくりでの留意点

- ・ 事業所や委員会、医師の協力をえて、事業所紹介や委員会・医療生協の取り組み、さらには医療・福祉・介護をめぐる状況や健康に関する記事、サークル活動や班活動の紹介、組合員の声などを掲載しています。
- ・ また、健康な暮らしも「平和であってこそ」です。平和をめぐる様々な問題や取り組みを掲載しています。
- ・ 昨年10月号からは「Satokoの性と生のおはなし」を連載しています。
- ・ コロナ禍の影響でまだまだ本来の活動には戻っていませんが、「健康」医療生協の名にふさわしい取り組みとして、各種サークルの活動紹介、班活動や医療懇談会の紹介、健康づくり講座の取り組みなどを紹介しています。

「声」欄への投稿と「お楽しみ健康クイズ」への応募

- ・ 「声」欄にたくさんの投稿が寄せられるのが特徴で、2023年度は多い月は29通、平均23通の「声」が寄せられました。また、クイズの応募は多い月で41通、平均31通ありました。このクイズの絵は、組合員さんの手によるもので、時には手強いときもありますが、暮らしの中の身近で季節感あふれる題材が描かれており好評です。

毎月250人を超える組合員の力で、4千部のニュースを発行

- ・ 現在、毎月約4千部のニュースを発行しており、原稿作りから印刷・折り、封筒の宛名印刷（今年2月号から。それまでは5人の方で2週間ほどかけて宛名シール貼り作業）、配達者ごとの封筒の仕分け、封入、そして配達に到るまで、250人を超える組合員さんの協力をえて進めており、約8割が手配りされています。
- ・ しかし最近では配達に携わる組合員の年齢層も高くなり、配達を辞退されるケースも増えてきています。財政面だけでなく組合員の活動参加と交流という点からも、配達参加者を増やすことが急務となっています。
- ・ また、月1回の封入作業としては2種類の作業があります。1つは手配り用、もう1つは郵送用の作業です。手配り用の封入作業には毎回20人前後の方々が参加し、手も口も動かして（ただし口の方はコロナ禍の影響で今もまだ少し自粛していますが）和気あいあいと作業を進めています。この作業も参加者の年齢層が高くなっており、新しい方々の参加を募る必要があります。郵送用の封入作業は約700通を2~3人で行っており、人手の確保が課題となっています。
- ・ 広報委員会は、紙面づくりの企画、編集、印刷、配達準備まで8人の委員で取り組んでおり、役割分担し知恵を出し合って和やかな雰囲気作業を進めています。
- ・ 例年2月に組織委員会と共催で取り組んできた、ニュースの発行作業に携わる方々やボランティア活動参加者の懇親会を3月30日に実施しました。

【健康づくり委員会】

「みんなで楽しく健康づくり2023」計画していた5回の健康講座を開催することができました。

- ・ 5月31日（水）「在宅介護の困りごと何でも聞きます」
さぼーと ゆう・ゆう・ゆう小野るい子所長を講師に講座を開催。参加人数は14人。
実際の業務を通じての工夫や気を付けているところをわかりやすく具体的に解説。
参加者からは「相談することで考え方の整理ができた」「在宅や通所の利用者などにも、もっと聞いてほしい」と好評でした。
- ・ 6月29日（木）「歯のお手入れ」（自宅での手入れと歯科医院での手入れ）

歯科の赤毛宏医師を講師に講座を開催。参加人数は 21 人。歯磨きの仕方や歯ブラシの選び方など、歯科衛生士と一緒に歯間ブラシやフロスなども使いながら、実技指導を中心に行いました。参加者からは「模型を使用した実際の歯磨きの方法と、歯ブラシの種類や実技がよくわかった」と感想がありました。

・9月6日(水)「救急処置について」

宇治消防署から講師を派遣していただきました。参加人数は 12 人。救急処置について、人工呼吸や心臓マッサージなどの心肺蘇生、喉に物が詰まった時や出血した時の対処法など身近に起こりそうなことを具体的に聞くことができました。心臓マッサージは実技も行い、参加者からは「実際にやってみると思った以上に力が必要で、やっておかないと実際には役に立たないと思う」と感想がありました。

・10月4日(水)「健康食品とサプリメント」

京都府山城北保健所 衛生課 薬剤師の服部正幹さんを講師に講座を開催。参加人数は 11 人。医薬品と健康食品の違い、摂取にあたっての注意すべき点などを学びました。テレビなどで毎日のように目にする健康食品ですが、代謝する際に肝臓や腎臓に負担をかけ、副作用の心配もあること、使用においては自己責任で健康被害が起きた場合は保障がないことが多く、健康食品り過ぎず、毎日の食事と運動、睡眠を心がけることが大切なことを学びました。参加者からは「病気が治るといっている健康食品にはだまされないようにしたい」「健康には健康食品に頼らず食事・運動・睡眠が大事だと知った」と感想がありました。

・11月6日(月)「インフルエンザなどの感染症」

河本一成所長を講師に講座を開催。参加人数は 14 人。ウイルス感染のメカニズムやインフルエンザとコロナの違い、ワクチンの有効性などについてお話を聞きました。ワクチン接種と日常の体調管理の大切さ、マスク・うがい・手洗いは引き続き実施し、バランスの良い生活に心がけましょうとお話がありました。「感染症について専門的な部分も学ぶことができ良かった」と感想がありました。

チャレンジ 私の健康づくり2023

1. この事業は、3ヵ月の限られた期間、個人または家族で意識し合って実施できました。
2. この事業は、1人1人が自らの健康や生活状態を踏まえた上で、課題を考え、目標を設定しています。そのため、目標達成に向けて頑張ることができるので、結果につながっているのではないかと推測します。目標が達成できなかった場合も、目標達成に向けて努力したことは自分を向上させるためにも良い経験になったと思います。
3. 組合員の健康づくりに貢献していく事業として、これからも幅広い年代の組合員が参加者できるようこの事業を今後も工夫しながら進めていきます。

〔事業の概要〕

参加者 : 44人 達成者 : 36人 延べ人数 : 51人

参加費 : 300円 (目標達成者には500円のクオカード) 実施期間 : 2023. 9. 1~11. 30の3ヵ月間

①おてがるウォーキング	8人	⑥きっぱり禁煙	0人
②食事で健康	20人	⑦アルコールほどほど	3人
③間食控えてすっきり	1人	⑧ぐっすり快眠	4人
④うす味減塩	0人	⑨おいしく長生きピカピカ歯磨き	6人
⑤無理なくダイエット	4人	⑩私のオリジナル健康法	5人

〔感想より〕・・抜粋 (感想未記入もあり)

① コース

ウォーキングをすることに喜びを感じています。太陽が丘まで行き、皆と会話することで気持ちが和やかになります。いつも気にせず歩いているが、歩数を記録することにより意識して歩ける所は歩くようになった。通勤を利用して歩くことによって健康を維持できるように心がけました。

② コース

毎日野菜を摂るようになった。野菜を摂ることを意識したので食事の見た目の彩が良くなった。嫌いなものでも一口は食べるように頑張れた。ゆっくりよく噛む事で早食いが少しはマシになった気がする。食べ過ぎない事で痩せられて良かった。

③ コース

誘惑に負けそうになったけど必死に頑張った。

⑤ コース

頑張ったが達成できなかった。

⑦ コース

休日は飲んでしまったが、週休5日は達成できた。

⑧ コース

以前は仕事の日は寝るのが遅くなりがちだったけど、できるだけ早く寝る様にしたら仕事中に眠くなりにくかったです。

⑨ コース

いつもは適当に磨いていたけど、時間を気にしたら今までは2.3分しか磨いていないことが分かった。疲れて寝てしまうことがあって、毎日ちゃんと磨けないことがあったけどこれからは頑張る。毎日意識して5分磨くことがなかったので、こうゆう機会のおかげで毎日しっかり磨くことができました。兄弟で5分を気にしながら歯磨きをしていたので、歯磨きをし忘れることが減った。

⑩ コース

健康寿命を延ばすために、日々の体調を知り、生活のリズムを考えるようにしています。体重も毎日測定し、管理していきました。今回は達成できなかったが、意識はする様になったので良かったと思う。

塩分測定器貸出のまとめ

【2023年度の目標】

①減塩の推進を引き続き行い組合員の意識付けを図る。

②塩分測定器の貸し出し、分析をして組合員にお知らせします。

今年度塩分測定器の貸し出し状況 0件で残念な結果となりました。

しかし、目標にある組合員の意識付けに関しては窓口である看護師に「自分で購入したい」「どこで売っているのか?」「価格はいくらぐらいか?」などの問い合わせが何件もあり、その背景は借りるよりも家に置いておき調理する段階で塩分測定をし、次の料理の目安にしたいのではないかと考えます。少しずつですが意識付けに繋がっているのではないかと感じました。

また今年度もコロナに加えインフルエンザも流行し感染対策を掲げていてもやはり使い回すことの抵抗感も一つの要因だと考えます。

【反省点】

前年度の検討課題にあった業務内での貸し出しに関して検討ができませんでした。業務時間内で窓口である看護師の余裕がないこと、声かけも満足にできないことも現状でした。今回0件という結果踏まえ貸し出し方法の検討をしていきたいと思えます。

【介護事業委員会】

介護事業委員会では、法人、あさくら診療所医科、さぼ一とゆう・ゆう・ゆう、ケアステーションあさくらの担当者で毎月定例の会議を行い、京都民医連介護福祉部会の報告と情報共有、各事業所の事業や取組の報告、新型コロナウイルス感染症に関する情報を共有しました。

法令遵守で定められている各事業の自主点検の実施と確認、京都府の情報公表システムへの報告を行いました。

今年度は、ハラスメントや高齢者虐待防止、感染症防止の指針を作成しました。昨年度から取り組んでいるBCP（業務継続計画）の見直し、机上訓練を各事業所で行い、委員会で情報を共有しました。

介護事業委員会主催の学習会を実施しました。事例検討会等の開催を検討していましたが今年度

は取り組むことができず、次年度の課題となりました。

2017年から『やましろ健康医療生協のニュース』に介護分野の記事の掲載を続けています。今年度も、各事業所の職員が交代で担当することができました。組合員さんに幅広い介護分野の情報を提供しました。

今年度も京都民医連介護福祉部会や各委員会の会議に参加しました。各委員会主催の学習会に積極的に参加することができました。

介護ウェブの取り組みとして全事業所で目標を決め署名活動や宣伝行動を行いました。400筆の目標に対して516筆（達成率129%）の署名を集め、目標を達成することができました。

事業報告書の附属明細書

1. 役員報酬等の状況

①役員報酬等明細

区分	定款上の定員	支給人員	支給額	摘要
理事	21	2人	24,556,998円	
監事	2	なし	0円	

②役員退職慰労金明細

2023年度の支給はなし

2. 役員以外の法人等の業務執行者兼務状況

区分	常勤・非常勤	代表権の有無	氏名	兼務先名	兼務先での役職名
理事	常勤	あり	河本 一成		
理事	常勤	なし	堂本 吉次	京都府生活協同組合連合会 社会福祉法人栗隈福祉会	理事 監事
理事	非常勤	なし	能塚 耐子	社会福祉法人栗隈福祉会	監事

3. 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細

2023年度、能塚耐子理事がつとめる社会福祉法人栗隈福祉会とくりくま保育園健診料 107,250円

4. その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

在宅事業支援補助金 あさくら診療所歯科 188,000円

物価高騰補助金 医科 270,000円 ケアステーション 82,000円

顔認証システム 医科 429,000円 歯科 429,000円

歯科衛生士学校実習受託費 大原学園 41,800円 未来学園 9,600円

アサヒプリテック金パラ代金 歯科 1,105,084円

生協連レインボークラブ配当金 49,055円

IV 法人の財産・損益の状況

貸借対照表			
2024年 3月 31日 現在			
やましる健康医療生活協同組合			(単位：円)
資 産 の 部			
【流動資産】			
現金		121,686	
小口現金		123,342	
普通預金		68,790,753	
定期預金		10,127,162	
積立預金		24,395,478	
医療保険未収金		38,397,382	
介護保険未収金		8,588,600	
負担金未収金		479,036	
未請求未収金		334,285	
健診未収金		381,779	
未収金		495,005	
医薬品		2,493,897	
診療材料		2,375,934	
前払費用		1,212,529	
仮払金		34,450	
貸倒引当金		△ 290,000	
流動資産合計			158,061,318
【固定資産】			
【有形固定資産】			
建物		146,410,480	
建物付属設備		83,711,091	
構築物		15,942,466	
医療用器械備品		56,751,238	
車両および運搬具		5,398,516	
有形固定資産リース資産		8,834,376	
減価償却累計額		△ 270,821,751	
有形固定資産合計		46,226,416	
【無形固定資産】			
ソフトウェア		183,260	
無形固定資産合計		183,260	
【投資その他資産】			
関係団体等出資金		645,000	
長期前払費用		396,056	
保証金		1,330,000	
京医協基金積立金		27,644,680	
投資その他資産合計		30,015,736	
固定資産合計			76,425,412
資産合計			234,486,730

負債の部			
【流動負債】			
買掛金		9,309,661	
未払金		4,484,709	
建設協力債1年内		29,840,000	
預り金		2,257,422	
未払費用		5,954,357	
賞与引当金		6,326,650	
未払消費税		562,400	
未払法人税等		362,000	
流動負債合計			59,097,199
【固定負債】			
建設協力債		304,500	
長期未払金		3,130,540	
退職給付引当金		127,816,521	
リース負債		8,834,376	
固定負債合計			140,085,937
負債合計			199,183,136
純資産の部			
【株主資本】			
【資本金】			
出資金		56,865,000	
基本財産		0	56,865,000
【利益剰余金】			
【その他利益剰余金】			
繰越利益剰余金		△ 21,561,406	
(内当期純損失)		(4,009,437)	
その他利益剰余金合計		△ 21,561,406	
利益剰余金合計			△ 21,561,406
株主資本合計			35,303,594
純資産合計			35,303,594
負債・純資産合計			234,486,730

損益計算書

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月 31日

やましる健康医療生活協同組合				(単位：円)
【売上高】				
外来診療収益		208,855,572		
在宅診療収益		61,257,764		
売上高		5,641,979		
健診収益		12,949,723		
その他の医業収益		1,556,174		
保険等査定減		△ 694,760		
訪問サービス収益		31,890,899		
通所・居宅サービス収益		12,819,014		
その他の福祉収益		13,155,580		
医療福祉等附帯事業収益		3,130,570		350,562,515
売上総利益				350,562,515
【販売費及び一般管理費】				
常勤職員給与		111,748,659		
非常勤職員給与		58,466,600		
役員報酬		24,556,998		
賞与および賞与引当金繰入		23,900,913		
退職金および退職給付引当金繰入		8,776,755		
法定福利費		26,164,864		
出向人件費		△ 1,672,359		
医薬品費		28,041,228		
診療材料費		12,729,874		
検査委託費		7,922,376		
歯科技工委託費		5,463,691		
医事委託費		12,240		
清掃委託費		660,000		
賃借料		9,388,000		
修繕費		138,270		
器機保守料		1,602,155		
車両費		886,212		
研究研修費		296,021		
福利厚生費		1,887,963		
旅費交通費		3,297,575		
職員被服費		31,792		
通信費		2,319,291		
広告宣伝費		15,000		
消耗品費		2,514,647		
業務委託費		1,678,996		
水道光熱費		3,014,887		
保険料		997,011		
交際費		22,000		
諸会費		5,380,692		
租税公課		69,228		
衛生費		2,400,540		
教育文化費		15,975		
広報費		139,291		
雑費		231,184		
医療福祉等附帯事業費用		1,904,430		
減価償却費		7,443,839		
リース料		3,463,095		
消費税		1,110,800		357,020,733
営業損失				6,458,218

【営業外収益】			
受取利息配当金		659	
その他の営業外収益		5,000	
雑収入		3,581,783	3,587,442
【営業外費用】			
支払利息		63,910	63,910
経常損失			2,934,686
【特別利益】			
貸倒引当金戻入		10,000	10,000
【特別損失】			
過年度退職給付引当金繰入		722,750	
雑損失		1	722,751
税引前当期純損失			3,647,437
法人税及び住民税			362,000
当期純損失			4,009,437

事業費用明細書

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月 31日

やましる健康医療生活協同組合	(単位：円)			
常勤職員給与			111,748,659	
非常勤職員給与			58,466,600	
役員報酬			24,556,998	
賞とおよび賞与引当金繰入			23,900,913	
退職金および退職給付引当金繰入			8,776,755	
法定福利費			26,164,864	
出向人件費			△ 1,672,359	
医薬品費			28,041,228	
診療材料費			12,729,874	
検査委託費			7,922,376	
歯科技工委託費			5,463,691	
医事委託費			12,240	
清掃委託費			660,000	
賃借料			9,388,000	
修繕費			138,270	
器機保守料			1,602,155	
車両費			886,212	
研究研修費			296,021	
福利厚生費			1,887,963	
旅費交通費			3,297,575	
職員被服費			31,792	
通信費			2,319,291	
広告宣伝費			15,000	
消耗品費			2,514,647	
業務委託費			1,678,996	
水道光熱費			3,014,887	
保険料			997,011	
交際費			22,000	
諸会費			5,380,692	
租税公課			69,228	
衛生費			2,400,540	
教育文化費			15,975	
広報費			139,291	
雑費			231,184	
医療福祉等附帯事業費用			1,904,430	
減価償却費			7,443,839	
リース料			3,463,095	
消費税			1,110,800	
合計			357,020,733	

キャッシュフロー計算書		自2023年4月 1日	自2022年4月 1日	(単位：円)
		至2024年3月末日	至2023年3月末日	
		2023年度実績	2022年度実績	前年差額
当期純損益		△ 4,009,437	△ 12,728,438	8,719,001
減価償却費 (+)		7,422,995	8,165,939	△ 742,944
固定資産除却損等 (+)		1	8	△ 7
その他の非資金費用 (+)		0	1,196	△ 1,196
設備補助金 (-)		0	0	0
建物等に係る控除対象外消費税 (+)		0	0	0
受取寄付金 (-)		0	0	0
非資金費用(+)		7,422,996	8,167,143	△ 744,147
事業未収金 増減額		1,815,850	△ 4,925,032	6,740,882
棚卸資産 増減額		△ 848,819	△ 316,796	△ 532,023
仕入債務 増減額		171,424	△ 67,290	238,714
賞与・貸倒引当金 増減額		44,900	32,900	12,000
その他流動資産 増減額		△ 262,497	△ 50,716	△ 211,781
その他流動負債 増減額		△ 1,315,388	1,913,825	△ 3,229,213
資産負債増減額		△ 394,530	△ 3,413,109	3,018,579
退職給付引当金繰入額 (+)		9,499,505	10,966,421	△ 1,466,916
退職金支出額 (-)		△ 31,269,100	△ 5,630,040	△ 25,639,060
退職金		△ 21,769,595	5,336,381	△ 27,105,976
支払利息計上額 (+)		63,910	0	63,910
利息支払額 (-)		△ 7,200	△ 173,490	166,290
支払利息		56,710	△ 173,490	230,200
法人税等および同調整額 (+)		362,000	362,000	0
法人税等支出額 (-)		△ 362,000	△ 362,000	0
法人税等		0	0	0
他のキャッシュフローへの振替額 旧リース料(+)		3,463,095	3,894,754	△ 431,659
他のキャッシュフローへの振替額		0	0	0
I. 事業活動によるキャッシュフロー		△ 15,230,761	1,083,241	△ 16,314,002
(事業収益対比率)		-4.3%	0.3%	
有形固定資産の取得による支出 (-)		△ 5,198,252	△ 4,102,632	△ 1,095,620
有形固定資産の売却による収入 (+)		0	0	0
無形固定資産の取得による支出 (-)		0	0	0
無形固定資産による収入 (+)		0	△ 20,844	20,844
建物等に係る控除対象外消費税 (-)		0	0	-
設備補助金による収入 (+)		0	0	0
その他固定資産の取得による支出 (-)		△ 240,000	△ 240,000	0
その他固定資産による収入 (+)		20,844	20,844	0
II. 投資活動によるキャッシュフロー		△ 5,417,408	△ 4,342,632	△ 1,074,776
本支店勘定による増減		0	0	0
出資金増資による収入 (+)		365,000	265,000	100,000
出資金減資による支出 (-)		△ 1,450,000	△ 930,000	△ 520,000
地域協同基金による収入 (+)		0	0	0
地域協同基金の返還による支出 (-)		0	0	0
特定協力借入金による収入 (+)		0	0	0
特定協力借入金の返済による支出 (-)		△ 1,100,000	△ 500,000	△ 600,000
短期借入金による収入 (+)		0	0	0
短期借入金の返済による支出 (-)		0	0	0
長期借入金による収入 (+)		0	0	0
長期借入金の返済による支出 (-)		0	0	0
受取寄付金による収入 (+)		0	0	0
寄付金の支出 (-)		0	0	0
リース債務の支払額		△ 3,463,095	△ 3,894,754	431,659
固定資産表示定期預金等の増減		0	0	0
その他の収入・支出		0	0	0
III. 財務活動によるキャッシュフロー		△ 5,648,095	△ 5,059,754	△ 588,341
IV.現金および現金同等物の増減額		△ 26,296,264	△ 8,319,145	△ 17,977,119
V.現金および現金同等物の期首残高		129,854,685	138,173,830	△ 8,319,145
VI.現金および現金同等物の期末残高		103,558,421	129,854,685	△ 26,296,264
(注記事項) 長期預金残高		0	0	0
合計預金残高		103,558,421	129,854,685	△ 26,296,264

損失金処理案

2023年度 (単位：円)

I	前期末損失金	17,551,969
II	当期損失金	4,009,437
II	次期繰り越し損失金処理額	21,561,406

【定款より】

(法定準備金)

第75条 この組合は、出資総額の2分の1に相当する額に達するまで、毎事業年度の剰余金の10分の1に相当する額以上の金額を法定準備金として積み立てるものとする。ただし、この場合において繰越欠損金があるときには、積み立てるべき準備金の額の計算は、当該事業年度の剰余金からその欠損金のおてん補に充てるべき金額を控除した額についておこなうものとする。

2 前項の規定による法定準備金は、欠損金のおてん補に充てる場合を除き、取り崩すことができない。

(教育事業等繰越金)

第76条 この組合は、毎事業年度の剰余金の20分の1に相当する額以上の金額を教育事業等繰越金として翌事業年度に繰り越し、繰り越された事業年度の第3条第5項に定める事業の費用に充てるために支出するものとする。なお、全部又は一部を組合員相互の協力の下に地域において行う福祉の向上に資する活動を助成する事業に充てることができる。

2 前条第1項ただし書の規定は、前項の規定による繰越金の額の計算について準用する。

(医療福祉等事業積立金)

第77条 この組合は、医療福祉等事業に関し、残余がある場合については、医療福祉等事業積立金として積み立てるものとする。

2 前項の規定による医療福祉等事業積立金は、医療福祉等事業の費用に充てる場合を除いては、取り崩してはならない。

注記

[I] 重要な会計方針に係る事項に関する注記

2023年度	2022年度
1. 重要な会計方針に係る事項	1. 重要な会計方針に係る事項
①同右	①資産の評価基準及び評価方法 (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 医薬品・診療材料については最終仕入原価に消費税110/100を乗じたものを計上している
②同右	②固定資産の減価償却の方法 (1) 有形固定資産の減価償却方法 法人税法に基づく定率法により、耐用年数は税法基準によっている 1998年4月1日以降の取得建物（歯科増築部分）については、法人税法に基づく定額法の150%を計上している。償却不足額はなし 2007年3月31日以前に取得した資産で、すでに償却可能限度

<p>(2) 同右</p> <p>(3) 同右</p> <p>③</p> <p>(1) 同右</p> <p>(2) 同右</p> <p>④同右</p> <p>(1) 同右</p> <p>(2) 同右</p>	<p>額に到達しているものは新規定による償却をおこなっている 2007年4月1日以降に取得した資産は新償却法による</p> <p>(2) 無形固定資産の減価償却方法 法人税法に基づく定額法による。償却不足額は無い</p> <p>(3) 少額固定資産の処理方法 10万円以上20万円未満の少額固定資産は会計上費用処理をし、法人税申告書別表で加算（減算）している</p> <p>③引当金の計上基準</p> <p>(1) 賞与引当金 賞与の支給に備えるため、当年度職員一人あたり平均支給額×期末在籍人数で算出した総額の4/12を計上している</p> <p>(2) 貸倒引当金 保険未収金、健診未収金、負担金未収金等の貸倒に備えるため、税法で定められた繰入限度額を計上している</p> <p>④その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項</p> <p>(1) 消費税の会計処理 消費税については税込み方法による</p> <p>(2) 建設組合債の未払利息 借入金の利息支払に備えるため、期末支払利息総額の100%を計上している</p>
<p>(3) 同右 ファイナンシャルリースについては減価償却費として計上</p> <p>(4) 同右</p>	<p>(3) リース取引の表示方法 リース取引については貸借対照表にリース資産、リース負債として表示している</p> <p>(4) その他の収益及び費用 上記に特記した事項以外は、発生基準による</p>

【Ⅱ】 貸借対照表に関する注記

1. 資産が担保に供されている場合における事項
該当なし

2. 資産に係る引当金を直接控除した場合における各資産の資産項目別の引当金の金額
該当なし

3. 資産に係る資産項目別の減価償却累計額
建物 146,410,480 円

建物附属設備	83,711,091 円
構築物	15,942,466 円
医療用器械備品	56,751,238 円
車両運搬具	5,398,516 円
有形固定資産 リース資産	8,834,376 円
減価償却累計額	270,821,751 円

4. 減損損失累計額の表示

該当なし

5. 債務保証等

該当なし

6. 子法人等及び関連法人に対する金銭債権又は金銭債務

該当なし

7. 役員に対する金銭債権又は金銭債務

該当なし

〔Ⅲ〕 損益計算書に関する注記

1. 法人税等

法人税等には、法人税・事業税・住民税が含まれている

2. 教育事業等繰越金

教育事業等繰越金はない

〔Ⅳ〕 損失金処理案に関する注記

なし

〔Ⅴ〕 退職給付に関する注記

1. 退職給付債務の計上

職員の退職金支給に備えるため、当期末における退職給付債務（簡便法による期末自己都合退職要支給額を採用）を退職給付引当金として計上している

2. 採用する退職給付制度

全日本民医連統一会計基準退職一時金制度

3. 職員の退職一時金制度の退職給付債務の内訳

(1) 退職給付債務およびその内訳

① 退職給付債務 127,816,521 円

(2) 退職給付費用の内訳

① 当期発生費用処理額 33,812,527 円

〔Ⅶ〕 キャッシュフロー計算書の注記

1. キャッシュフロー計算書における資金の範囲は、流動資産に表示している現金・預金の合計額で表示している

[Ⅷ] その他の注記

1. 当法人は京都医療事業協同組合に対して 300,000 円を出資している

なお、京都医療事業協同組合との間の債権・債務・取引の状況は以下のとおりである

買掛金残高	9,309,661 円
医薬品購入高	28,041,228 円
京医療事業協同組合基金積立金	27,644,680 円

* 京都医療事業協同組合基金は協同組合会員法人が、基金の集団的運用により、参加法人の資金運用に役立てるものである

2. 当法人は全日本民医連厚生事業協同組合に対して 40,000 円を出資している

「改正」保険業法により、職員を対象としてきた従来の共済制度の継続が困難になるため、自主共済等の保険業法適用除外を求める運動をすすめながらも、当面の対応として「全日本民医連厚生事業協同組合」を設立し共済制度を継続することとしたものである

決算関係書類附属明細書

1. 組合資本の明細

(1) 資本明細書

(円)

名称	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
出資金	57,950,000	365,000	1,450,000	56,865,000
医療福祉等事業積立金	0	0	0	0
法定準備金	0	0	0	0
当期末処分剰余金	-17,551,969		4,009,437	-21,561,406
合計	40,398,031	365,000	5,459,437	35,303,594

2. 借入金の明細

(1) あさくら診療所建設組合債明細表

(円)

借入先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
建設組合債	30,940,000	0	1,100,000	29,840,000
建設協力債	304,500	0	0	304,500
	31,244,500	0	1,100,000	30,144,500

* 建設組合債（有利息）：年利は借入月初日の郵便 1 年定期貯金利率+0.1%

3.有形固定資産及び無形固定資産の明細

(1)有形固定資産明細

減価償却一覧表										2024年3月31日		
事業所	種別	資産名	メーカー	購入先	取得日	取得価格	期首簿価	耐用年数	償却率	期間	今期償却額	期末簿価
診療所	建物	建物			1994/09/01	115,731,484	14,012,240	29	0.076	12	1,064,930	12,947,310
診療所	建物	盛土・地均			1994/09/01	3,159,167	3,159,167	99	0.000	12	0	3,159,167
診療所	建物	増築工事			2001/03/15	26,509,829	2,606,320	定額 29	0.035	12	835,059	1,771,261
診療所	建物	給湯室改修工事			2001/03/15	1,010,000	176,344	29	0.076	12	13,402	162,942
	小計					146,410,480	19,954,071				1,913,391	18,040,680
診療所	建物付属設備	高圧変電設備			1994/09/01	3,858,543	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	幹線動力設備			1994/09/01	4,390,274	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	電灯コンセント設備			1994/09/01	2,903,961	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	照明器具設備			1994/09/01	4,884,262	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	電話配管設備			1994/09/01	725,867	1	10	0.206	12		1
診療所	建物付属設備	放送設備			1994/09/01	932,354	1	10	0.206	12		1
診療所	建物付属設備	TV共聴視設備			1994/09/01	721,026	1	10	0.206	12		1
診療所	建物付属設備	呼出表示設備			1994/09/01	820,514	1	10	0.206	12		1
診療所	建物付属設備	自動火災報知器			1994/09/01	900,146	1	8	0.250	12		1
診療所	建物付属設備	給水設備			1994/09/01	4,751,950	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	給湯設備			1994/09/01	605,997	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	排水通気設備			1994/09/01	3,698,076	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	衛生器具設備			1994/09/01	1,715,338	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	消火設備			1994/09/01	220,212	1	8	0.250	12		1
診療所	建物付属設備	ガス設備			1994/09/01	2,019,993	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	冷暖房空調設備			1994/09/01	16,316,091	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	排水工事			1994/09/01	2,242,876	1	15	0.142	12		1
診療所	建物付属設備	歯科増築電気設備工事			2001/03/15	3,145,163	94,356	15	0.142	12	31,451	62,905
診療所	建物付属設備	歯科増築電話配管TV共聴設備			2001/03/15	117,406	1	10	0.206	12	0	1
診療所	建物付属設備	歯科増築自動火災報知設備			2001/03/15	598,606	1	8	0.250	12	0	1
診療所	建物付属設備	歯科増築給排水衛生冷暖房設備			2001/03/15	8,204,996	246,151	15	0.142	12	82,049	164,102
診療所	建物付属設備	給湯室電気設備			2001/03/15	73,500	2,207	15	0.142	12	734	1,473
診療所	建物付属設備	給湯室給排水衛生ガス設備			2001/03/15	651,000	19,532	15	0.142	12	6,509	13,023
診療所	建物付属設備	駐輪場屋根			2001/11/01	280,000	21,000	19	0.114	12	2,394	18,606
診療所	建物付属設備	冷暖房空調設備修理			2010/06/30	920,000	61,178	15	0.200	12	30,587	30,591
診療所	建物付属設備	歯科電気工事LED照明			2015/01/31	1,193,460	368,365	15	0.143	12	52,676	315,689
診療所	建物付属設備	電気工事LED照明			2017/02/10	2,600,820	1,526,254	定額 15	0.067	12	174,254	1,352,000
診療所	建物付属設備	ガスヒートエアコン(ホール)			2019/05/19	3,203,700	2,362,999	定額 15	0.067	12	214,647	2,148,352
診療所	建物付属設備	ガスヒートエアコン(2階)			2019/05/19	4,224,960	3,116,262	定額 15	0.067	12	283,072	2,833,190
診療所	建物付属設備	エアコン3台+室外機1台			2020/01/31	660,000	516,285	定額 15	0.067	12	44,220	472,065
診療所	建物付属設備	インターネット回線			2020/05/22	740,000	524,167	定額 10	0.100	12	74,000	450,167
診療所	建物付属設備	ガスヒートエアコン入替			2020/05/29	5,390,000	4,336,705	定額 15	0.067	12	361,130	3,975,575
	小計					83,711,091	13,195,480				1,357,723	11,837,757

診療所	構築物	舗装工事			1994/09/01	3,496,948	1	10	0.206	12		1	
診療所	構築物	囲障工事			1994/09/01	8,897,849	1	10	0.206	12		1	
診療所	構築物	植栽工事			1994/09/01	839,322	25,182	20	0.109	12	8,392	16,790	
診療所	構築物	アルミフェンス			2007/05/10	1,259,347	1	10	0.250	12	0	1	
診療所	構築物	ファルト)			2016/04/01	800,000	240,000	定額	0.100	12	80,000	160,000	
診療所	構築物	伸縮門扉取替工事			2022/11/30	649,000	621,959	定額	0.100	12	64,900	557,059	
	小計					15,942,466	887,144				153,292	733,852	
診療所	医療用器械	備品	調剤台一式	高園	西村医科器械	1994/09/01	968,200	1	6	0.319	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	顕微鏡	オリンパス	西村医科器械	1994/09/01	293,550	1	8	0.250	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	スペースライン イムシ										
診療所	医療用器械	備品	アNTS	モリタ	モリタ	2001/04/01	3,015,133	1	7	0.280	12	0	0
診療所	医療用器械	備品	スペースライン スピリッ										
診療所	医療用器械	備品	トII	モリタ	モリタ	2001/04/01	3,015,134	1	7	0.280	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	スペースライン スピリッ										
診療所	医療用器械	備品	トII	モリタ	モリタ	2001/04/01	3,015,134	1	7	0.280	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	スペースライン イムシ										
診療所	医療用器械	備品	アII NTS	モリタ	モリタ	2002/05/01	2,900,000	1	7	0.280	12	0	1
生協本部	医療用器械	備品	骨密度測定装置 DB-										
生協本部	医療用器械	備品	620			2003/04/15	1,228,500	1	6	0.319	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	分包機 バックメイト			2011/08/01	493,500	1	8	0.417	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	電話工事一式	NTT	NTT	2012/07/31	800,100	1	10	0.250	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	自動現像機X-OMATプ										
診療所	医療用器械	備品	ロセッサー1000	コダック	西村医科器械	2012/10/15	1,200,000	1	6	0.334	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	スペースライン スピリッ										
診療所	医療用器械	備品	トV Pdw	モリタ	モリタ	2012/04/19	2,345,300	1	7	0.334	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	超音波診断装置X										
診療所	医療用器械	備品	ario200			2013/10/15	4,725,000	1	6	0.334	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	コニカCRシステム			2014/03/10	1,995,000	1	6	0.334	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	東芝 レントゲン撮影機										
診療所	医療用器械	備品	器			2014/07/10	4,730,400	1	6	0.334	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	モリタ スペースライン										
診療所	医療用器械	備品	イムシアNTS	モリタ	モリタ	2014/06/20	2,661,000	1	7	0.334	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	歯科レントゲン装置一										
診療所	医療用器械	備品	式		西京商会	2015/07/10	3,803,760	1	6	0.334	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	内視鏡装置一式	フジノン	フジノン	2015/09/10	2,500,000	1	6	0.333	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	モリタ スペースライン										
診療所	医療用器械	備品	50型カンタンサイネージ			2016/09/10	2,494,800	1	7	0.286	12	0	1
生協本部	医療用器械	備品	DSM-50L7			2017/03/30	365,580	1	3	1.000	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	解析付心電計 FCP-										
診療所	医療用器械	備品	8221他	フクダ電子	京医協	2018/08/31	870,000	133,769	6	0.334	12	67,084	66,685
さぼと	医療用器械	備品	NTT電話設備	NTT	NTT西日本	2020/01/18	866,140	235,624	6	0.334	12	78,698	156,926
生協本部	医療用器械	備品	パソコン			2019/12/20	140,180	1	4	0.500	12	0	1
診療所	医療用器械	備品	スチームクリーナー		モリタ	2020/03/20	198,000	99,687	10	0.200	12	19,937	79,750

ステーション	医療用器械 備品	パソコン			2020/03/31	102,080	12,760	4	0.500	12	12,759	1
ステーション	医療用器械 備品	パソコン			2020/03/31	102,080	12,760	4	0.500	12	12,759	1
ステーション	医療用器械 備品	パソコン			2020/03/31	102,080	12,760	4	0.500	12	12,759	1
診療所歯科	医療用器械 備品	ルナクレープ		モリタ	2020/09/10	292,600	51,815	4	0.500	12	51,814	1
診療所歯科	医療用器械 備品	ルナクレープ		モリタ	2020/11/10	292,600	57,911	4	0.500	12	57,910	1
診療所	医療用器械 備品	電子カルテシステム			2021/03/11	8,570,100	4,285,050	5	0.400	12	1,714,020	2,571,030
生協本部	医療用器械 備品	印刷機	コニカミノルタ	コニカミノルタ	2022/09/30	873,400	669,607	5	0.400	12	267,842	401,765
生協本部	医療用器械 備品	印刷機	コニカミノルタ	コニカミノルタ	2022/09/30	616,000	472,267	5	0.400	12	188,906	283,361
診療所	医療用器械 備品	印刷機	コニカミノルタ	コニカミノルタ	2022/09/30	478,500	366,850	5	0.400	12	146,740	220,110
診療所歯科	医療用器械 備品	スペースライン ST	モリタ	モリタ	2023/04/20	2,730,000	2,730,000	7	0.286	12	780,780	1,949,220
診療所	医療用器械 備品	顔認証システム	富士フィルム	富士フィルム	2023/06/30	495,000	495,000	5	0.400	10	165,000	330,000
診療所歯科	医療用器械 備品	顔認証システム	ミック	ミック	2023/11/10	487,520	487,520	5	0.400	5	81,253	406,267
	小計					56,751,238	10,123,399				3,658,261	6,465,138
診療所	車両運搬具	ミラ L700S-GHDK	ダイハツ	宇治パブリック	1999/08/01	576,705	1	4	0.438	12	0	1
診療所	車両運搬具	アトレ	ダイハツ	宇治パブリック	2010/06/17	621,250	1	4	0.625	12	0	1
診療所	車両運搬具	ノア	トヨタ	宇治パブリック	2014/08/10	2,928,561	1	6	0.333	12	0	1
診療所	車両運搬具	ルーミー	トヨタ	宇治パブリック	2020/10/20	1,272,000	471,678	6	0.333	12	157,068	314,610
	小計					5,398,516	471,681				157,068	314,613
	合計					308,213,791	44,631,775				7,239,735	37,392,040
											減価償却累計額	270,821,751

(2) ソフトウェア明細表

(円)

名称	取得価格	当期償却額	償却累計額	期末残高
介護ソフト ほんのぼの	916,300	183,260	733,040	183,260
合計	916,300	183,260	733,040	183,260

(3) 無形固定資産明細表

(円)

名称	取得価格	当期償却額	償却累計額	期末残高
第2センター用地基金	938,000	20,844	541,944	396,056
合計	938,000	20,844	541,944	396,056

4. 関係団体出資金の明細

(円)

名称	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
京都府生活協同組合連合会	5,000	0	0	5,000
京都医療事業協同組合	300,000	0	0	300,000
全日本民医連厚生事業協同組合	40,000	0	0	40,000

日本医療福祉生活協同組合連合会	300,000	0	0	300,000
合 計	645,000	0	0	645,000

5. 引当金の明細

(円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
退職給付引当金	149,586,116	12,042,932	33,812,527	127,816,521	注
賞与引当金	6,271,750	24,175,469	24,120,569	6,326,650	
貸倒引当金	300,000	0	10,000	290,000	
合 計	156,157,866	36,218,401	57,943,096	134,433,171	

注 退職給付引当金は、今年度末で、要支給額の100%を計上。

6. 事業種類ごとの損益の明細

事業所名: 医科

事業所名: ケアステーションあさくら

単位	累計(4月～)					累計(4月～)					
	実績	予算比	前年比	計画	前年実績	実績	予算比	前年比	計画	前年実績	
01.事業収益合計 = 02+03+04	千円	200,874	103.9%	104.1%	193,425	192,917	13,051	97.3%	92.1%	13,417	14,172
02.医療事業収益 = (01)+(02)+(03)+(04)	千円	187,803	103.3%	103.5%	181,809	181,472	0			0	0
(01)外来医療収益(在宅含む)	千円	168,071	102.1%	103.4%	164,627	162,534					
外来	千円	118,913	95.0%	100.2%	125,114	118,703					
在宅	千円	49,158	124.4%	112.2%	39,513	43,831					
予防接種	千円	5,642	128.8%	103.2%	4,379	5,467					
(02)健診収益	千円	12,950	101.1%	98.0%	12,803	13,221					
(03)その他の医療収益	千円	1,556		108.7%	0	1,432					
(04)保険査定増減	千円	-415		35.1%	0	-1,184					
03.福祉事業収益=(01)+(02)+(03)+(04)	千円	13,071	112.5%	114.2%	11,616	11,445	13,051	97.3%	92.1%	13,417	14,172
(01)訪問サービス収益	千円	1,596	91.7%	130.9%	1,740	1,219	0				0
①抽出-訪問看護収益	千円										
②抽出-訪問介護収益	千円										
(02)通所・居宅サービス収益	千円	11,475	116.2%	112.2%	9,876	10,225	0				0
①抽出-通所リハビリ収益	千円										
②抽出-居宅療養管理収益	千円										
(03)その他の介護収益	千円						13,051	97.3%	92.1%	13,417	14,172
①抽出-居宅介護支援費収益	千円						13,051	97.3%	92.1%	13,417	14,172
(04)保険査定増減	千円										
04.医療福祉等附帯事業収益	千円				0	0					

単位	実績	予算比	前年比	計画	前年実績	実績	予算比	前年比	計画	前年実績	
01.事業費用合計 = 01+02+03+04+05+06+07	千円	196,622	105.8%	97.6%	185,886	201,387	18,851	99.2%	94.8%	19,000	19,889
(01)医療材料費	千円	33,237	164.6%	110.8%	20,193	29,996					
①抽出-医薬品費	千円	27,752	164.2%	107.1%	16,902	25,917					
②抽出-診療材料費	千円	5,485	166.7%	134.5%	3,291	4,079					
(02)人件費	千円	127,349	99.1%	96.9%	128,493	131,460	16,523	101.7%	95.1%	16,243	17,381
(03)委託費	千円	8,595	90.1%	91.7%	9,542	9,374					
①抽出-検査委託費	千円	7,922	89.3%	90.0%	8,869	8,807					
②抽出-歯科技工委託費	千円										
③抽出-清掃委託費	千円	660	100.0%	120.0%	660	550					
(04)減価償却費	千円	4,312	86.0%	76.0%	5,016	5,677	222			609	221
(05)リース料	千円	1,238	58.0%	68.0%	2,136	1,820	431	85.5%	95.1%	504	453
(06)経費	千円	21,891	106.8%	94.9%	20,506	23,060	1,675	101.9%	91.3%	1,644	1,834
(07)医療福祉等附帯事業費用	千円					0					

06.事業総剰余金 = Iの01-IIの01	千円	4,252	132.1%	58.1%	7,539	-8,469	-5,800	103.9%	101.5%	-5,583	-5,717
07.本部費	千円	1,980	100.0%	100.0%	1,980	1,980	120	100.0%	100.0%	120	120
08.事業剰余金 = 06-07	千円	2,473	145.9%	51.7%	5,559	-10,452	-5,919	103.8%	101.4%	-5,703	-5,837
09.事業外収益	千円	829	101.5%	79.5%	340	3,728	82			0	13
10.事業外費用	千円	0									
11.経常剰余金 = 08+09-10	千円	3,302	142.7%	52.6%	5,899	-6,724	-5,837	102.3%	100.2%	-5,703	-5,824
12.特別利益	千円										
13.特別損失	千円	0				2,781				0	
14.税引前剰余金 = 11+12-13	千円	3,302	142.7%	57.1%	5,899	-9,506	-5,837	102.3%	100.2%	-5,703	-5,824

単位	実績	予算比	前年比	計画	前年実績	実績	予算比	前年比	計画	前年実績	
02 外来・在宅	日	263	98.5%	98.5%	267	267	244	100.0%	100.0%	244	244
(01) ①延べ数	人	15,568	97.8%	98.9%	15,924	15,747					
医科 ②件数	件	12,376	98.9%	99.4%	12,519	12,449					
(02) ①延べ数	人										
歯科 ②件数	件										
(03) ①延べ数	人	15,568	97.8%	98.9%	15,924	15,747	0		0	0	0
合計 ②件数	件	12,376	98.9%	99.4%	12,519	12,449	0		0	0	0
●新患者数(初診料算定回数)	人										
3 ①延べ数	人	1,823	100.7%	105.8%	1,810	1,723					
在宅 ②件数	件	745	107.3%	105.7%	694	705					
04.健診延べ数	人	935	79.2%	85.2%	1,180	1,098					

単位	実績	予算比	前年比	計画	前年実績	実績	予算比	前年比	計画	前年実績	
01 (01)利用者延べ数	人										
訪問介護 (02)利用者件数	件										
02 (01)利用者延べ数	人	370	78.2%	154.2%	473	240					
訪問看護 (02)利用者件数	件	104	96.3%	148.6%	108	70					
03 (01)利用者延べ数	人	953	96.6%	108.8%	987	876					
通所リハビリ (02)利用者件数	件	207	99.5%	106.2%	208	195					
04 (01)利用者延べ数	人	1,213	114.8%	114.4%	1,057	1,060					
居宅療養管理指導 (02)利用者件数	件	630	107.3%	114.8%	587	549					
05.ケアプラン	件						1,203	98.5%	91.9%	1,221	1,309

収益の状況	単位	累計(4月~)					累計(4月~)				
		実績	予算比	前年比	計画	前年実績	実績	予算比	前年比	計画	前年実績
01.事業収益合計 = 02+03+04	千円	30,400	99.6%	109.4%	30,522	27,798	105,695	102.5%	110.7%	103,112	95,462
02.医療事業収益 = (01)+(02)+(03)+(04)	千円						101,763	100.8%	110.1%	100,928	92,464
(01)外来医療収益(在宅含む)	千円						102,043	101.1%	110.3%	100,928	92,542
①歯科 外来	千円						89,943	99.0%	109.9%	90,834	81,839
②歯科 在宅	千円						12,100	119.9%	113.1%	10,094	10,703
(02)健診収益	千円						0				0
(03)その他の医療収益	千円						0				4
(04)保険査定増減	千円						-280				-83
03.福祉事業収益=(01)+(02)+(03)+(04)	千円	30,400	99.6%	109.4%	30,522	27,798	1,344	203.6%	154.7%	660	869
(01)訪問サービス収益	千円	30,295	99.5%	109.2%	30,450	27,747					
①抽出-訪問看護収益	千円										
②抽出-訪問看護収益	千円	30,295	99.5%	109.2%	30,450	27,747					
(02)通所・居宅サービス収益	千円						1,344	203.6%	154.7%	660	869
①抽出-通所リハビリ収益	千円										
②抽出-居宅療養管理収益	千円						1,344	203.6%	154.7%	660	869
(03)その他の介護収益	千円	105	145.8%	205.9%	72	51					
①抽出-居宅介護支援費収益	千円										
(04)保険査定増減	千円										
04.医療福祉等附帯事業収益	千円						2,588	169.8%	121.6%	1,524	2,128

費用の状況	単位	累計(4月~)					累計(4月~)				
		実績	予算比	前年比	計画	前年実績	実績	予算比	前年比	計画	前年実績
01.事業費用合計 = 01+02+03+04+05+06+07	千円	28,573	95.8%	110.8%	29,824	25,792	106,437	105.0%	115.0%	101,344	92,514
(01)医療材料費	千円						7,534	90.8%	103.0%	8,296	7,313
①抽出-医薬品費	千円						289	55.0%	134.4%	525	215
②抽出-診療材料費	千円						7,245	93.2%	102.1%	7,771	7,098
(02)人件費	千円	25,525	96.1%	111.1%	26,561	22,982	82,619	108.7%	118.3%	75,972	69,845
(03)委託費	千円						5,464	91.1%	108.0%	6,000	5,058
①抽出-検査委託費	千円						0				0
②抽出-歯科技工委託費	千円						5,464	91.1%	108.0%	6,000	5,058
③抽出-清掃委託費	千円						0				0
(04)減価償却費	千円	79	45.4%	67.5%	174	117	2,354	70.1%	134.4%	3,360	1,752
(05)リース料	千円	236		786.7%	0	30	1,558	102.2%	98.0%	1,524	1,590
(06)経費	千円	2,733	88.5%	102.6%	3,089	2,663	5,354	86.5%	104.0%	6,192	5,147
(07)医療福祉等附帯事業費用	千円						1,553			0	1,809

06.事業総剰余金 = Iの01-IIの01	千円	1,827	261.7%	91.1%	698	2,006	-742	-42.0%	-25.2%	1,768	2,945
07.本部費	千円	1,020	100.0%	100.0%	1,020	1,020	1,380	100.0%	100.0%	1,380	1,380
08.事業剰余金 = 06-07	千円	807	-250.6%	81.8%	-322	986	-2,122	-546.9%	-135.6%	388	1,565
09.事業外収益	千円	120	100.0%	21.6%	120	556	2,496	293.6%	135.2%	850	1,846
10.事業外費用	千円						723		18075.0%	0	4
11.経常剰余金 = 08+09-10	千円	927		60.2%	-202	1,539	-349	-28.2%	-10.2%	1,238	3,411
12.特別利益	千円										
13.特別損失	千円						0				0
14.税引前剰余金 = 11+12-13	千円	927	-458.9%	60.2%	-202	1,539	-349	-28.2%	-10.2%	1,238	3,411

医療事業・患者動態		単位	実績	予算比	前年比	計画	前年実績	実績	予算比	前年比	計画	前年実績
02 外来・在宅	●外来診療実日数	日	263			263	262	243	99.6%	99.6%	244	244
	(01) ①延べ数	人										
	②件数	件										
	(02) ①延べ数	人						12,811	100.6%	109.9%	12,729	11,654
	②件数	件						8,320	109.5%	104.2%	7,596	7,987
	(03) ①延べ数	人						12,811	100.6%	109.9%	12,729	11,654
②件数	件						8,320	109.5%	104.2%	7,596	7,987	
●新患者数(初診料算定回数)	①延べ数	人						879	118.1%	118.1%	744	744
	②件数	件						326	112.4%	112.0%	290	291
04.健診延べ数	人											

介護事業・利用者動態		単位	実績	予算比	前年比	計画	前年実績	実績	予算比	前年比	計画	前年実績
01	(01)利用者延べ数	人	8,052	108.3%	107.6%	7,432	7,481					
	訪問介護 (02)利用者件数	件	645	92.8%	109.3%	695	590					
02	(01)利用者延べ数	人										
	訪問看護 (02)利用者件数	件										
03	(01)利用者延べ数	人										
	通所リハビリ (02)利用者件数	件										
04	(01)利用者延べ数	人						256	104.5%	150.6%	245	170
	居宅療養管理指導 (02)利用者件数	件						141	100.7%	146.9%	140	96
05.ケアプラン	件											

事業所名：法人本部

		累計(4月～)				
		実績	予算比	前年比	計画	前年実績
I. 収益の状況						
01.事業収益合計 = 02+03+04		542	101.1%	99.4%	536	545
02.医療事業収益 = (01)+(02)+(03)+(04)						
(01)外来医療収益(在宅含む)						
①内科						
②歯科						
(02)健診収益						
(03)その他の医療収益						
(04)保険査定増減						
03.福祉事業収益=(01)+(02)+(03)+(04)						
(01)訪問サービス収益						
①抽出-訪問看護収益						
②抽出-訪問介護収益						
(02)通所・居宅サービス収益						
①抽出-通所リハビリ収益						
②抽出-居宅療養管理収益						
(03)その他の介護収益						
①抽出-居宅介護支援費収益						
(04)保険査定増減						
04.医療福祉等附帯事業収益		542	101.1%	99.4%	536	545
II. 費用の状況						
01.事業費用合計 = 01+02+03+04+05+06+07		5,629	109.5%	86.1%	5,139	6,539
(01)医療材料費						0
①抽出-医薬品費						
②抽出-診療材料費						0
(02)人件費		126	87.5%	110.5%	144	114
(03)委託費						
①抽出-検査委託費						
②抽出-歯科技工委託費						
③抽出-清掃委託費		0				
(04)減価償却費		478		120.4%	47	397
(05)リース料		0	0.0%		317	0
(06)経費		4,673	109.9%	82.0%	4,252	5,702
(07)医療福祉等附帯事業費用		352	92.9%	108.0%	379	326
06.事業総剰余金 = Iの01-IIの01		-5087	110.5%	84.9%	-4603	-5994
07.本部費		-4500	100.0%	100.0%	-4500	-4500
08.事業剰余金 = 06-07		-587	569.9%	39.3%	-103	-1494
09.事業外収益		60	96.8%	3.0%	62	2012
10.事業外費用		64	107%	17.7%	60	362
11.経常剰余金 = 08+09-10		-591	585%	-378.8%	-101	156
12.特別利益		10				0
13.特別損失		0				2500
14.税引前剰余金 = 11+12-13		-581	575.2%	24.8%	-101	-2344
III. 医療事業・患者動態						
		実績	予算比	前年比	計画	前年実績
●外来診療実日数		261	100.0%	100.0%	261	261
02 外 来 ・ 在 宅	(01) ①延べ数	15,568	97.8%	98.9%	15,924	15,747
	②件数	12,376	98.9%	99.4%	12,519	12,449
	(02) ①延べ数	12,811	100.6%	109.9%	12,729	11,654
	②件数	8,320	109.5%	104.2%	7,596	7,987
	(03) ①延べ数	28,379	99.0%	103.6%	28,653	27,401
	②件数	20,696	102.9%	101.3%	20,115	20,436
●新患者数(初診料算定回数)		0				
03 在 宅	①延べ数	2,702	105.8%	109.5%	2,554	2,467
	②件数	1,071	108.8%	107.5%	984	996
04.健診延べ数		935	79.2%	85.2%	1,180	1,098
IV. 介護事業・利用者動態						
		実績	予算比	前年比	計画	前年実績
01	(01)利用者延べ数	8,052	108.3%	107.6%	7,432	7,481
	訪問介護 (02)利用者件数	645	92.8%	109.3%	695	590
02	(01)利用者延べ数	370	78.2%	154.2%	473	240
	訪問看護 (02)利用者件数	104	96.3%	148.6%	108	70
03	(01)利用者延べ数	953	96.6%	108.8%	987	876
	通所リハビリ (02)利用者件数	207	99.5%	106.2%	208	195
04	(01)利用者延べ数	1,469	112.8%	119.4%	1,302	1,230
	居宅療養管理指導 (02)利用者件数	771	106.1%	119.5%	727	645
05.ケアプラン		1,203	98.5%	91.9%	1,221	1,309

法人	単位千円
医療事業収益	289,566
医療事業費用	291,063
医療事業剰余金	-1,497
福祉事業収益	57,865
福祉事業費用	61,706
福祉事業剰余金	-3,841
附帯事業収益	3,131
附帯事業費用	1,904
附帯事業剰余金	1,227
本部費	4,500
人件費	251,942
経費	36,327
リース料	3,463
減価償却費	7,444
消費税	1,111
事業外収益	3,587
事業外費用	64
経常剰余金	-2,935
特別利益	10
特別損失	0
税引前当期剰余金	-3,647
法人税等	362
法人税等調整額	0
当期剰余金	-4,009

7. その他決算関係書類の内容を補足する重要な事項

(1) 流動資産の内容

① 現預金の明細

(円)

事業所	内訳	期首残高	期末残高	当期増減額
現金		119,021	121,686	2,665
小口現金	医科	50,000	50,000	0
	ステーション	20,000	20,000	0
	さぼーと	0	0	0
	歯科	50,000	50,000	0
	小 計	120,000	120,000	0
普通預金	京銀本店	66,122,850	47,918,061	▲18,204,789
	京銀大久保	29,024,083	34,959,545	5,935,462
	京銀本店	2,040,851	4,498,054	2,457,203
	京銀城陽	3,999,381	4,145,677	146,296
	郵便預金	1,223,777	1,215,506	▲8,271
	郵便振替	3,302,413	3,386,120	83,707
	小 計	105,713,355	96,122,963	▲9,590,392
定期預金	京銀本店	10,126,818	10,126,990	172
	小 計	10,126,818	10,126,990	172
積立預金	京銀本店	22,094,636	23,295,081	1,200,445
	小 計	22,094,636	23,295,081	1,200,445
合 計		136,972,735	129,854,685	▲7,118,050

③ 事業未収金及び未収金明細書

単位円

事業所	内訳	期首残高	期末残高	当期増減額
あさくら診療所内科	医療保険	25,932,864	24,874,257	▲ 1,058,607
	介護保険	1,806,022	1,912,103	106,081
	負担金	241,164	182,446	▲ 58,718
	健診	412,015	381,778	▲ 30,237
	その他	354,171	270,815	▲ 83,356
	小計	28,746,236	27,621,399	▲ 1,124,837
ケアステーションあさくら	介護保険	2,463,314	1,905,597	▲ 557,717
	小計	2,463,314	1,905,597	▲ 557,717
さぼーと ゆう・ゆう・ゆう	介護保険	4,308,276	4,521,672	213,396
	負担金	216,782	334,285	117,503
	未請求未収	0	334,285	334,285
	小計	4,525,058	5,190,242	665,184
あさくら診療所歯科	医療保険	14,034,155	13,523,125	▲ 511,030
	介護保険	139,836	182,446	42,610
	負担金	23,948	21,941	▲ 2,007
	その他	532,900	210,990	▲ 321,910
	小計	14,730,839	13,938,502	▲ 792,337
合計	医療保険	39,967,019	38,397,382	▲ 1,569,637
	介護保険	8,717,448	8,521,818	▲ 195,630
	負担金	481,984	538,672	56,688
	健診	412,015	381,778	▲ 30,237
	未請求未収	0	334,285	334,285
	未収金	913,471	481,805	▲ 431,666
	合計	50,491,937	48,655,740	▲ 1,836,197

④有価証券の明細

該当なし

④ 棚卸資産の明細

(円)

事業所	内訳	期首残高	期末残高	当期増減額
あさくら診療所内科	医薬品	2,334,232	2,257,319	▲76,913
	診療材料	822,647	637,077	▲185,570
	フィルム	0	0	0
	小計	3,156,879	2,894,396	▲262,483
あさくら診療所歯科	医薬品	206,958	236,578	29,620
	診療材料	657,175	1,738,857	1,081,682

	小 計	864,133	1,975,435	1,111,302
合計	医薬品	2,541,190	2,493,897	▲47,293
	診療材料	1,479,822	2,375,934	896,112
	フィルム	0	0	0
	合 計	4,021,012	4,869,831	848,819

⑤短期貸付金の明細

なし

⑥その他の流動資産の明細

前払費用の明細

(円)

名称	期末残高
関西電気保安協会24年4・5月分	26,466
セコム24年4・5月分	66,000
借地・家賃・ガレージ24年4月分	818,000
リサイクル預託金	22,250
顔認証システム保守料	279,813
合 計	1,212,529

⑦立替金の明細

健康まつり印刷代 34,450 円

(2)固定資産の明細

①長期貸付金の明細

該当なし

②長期前払費用の明細

該当なし

③差入保証金の明細

(円)

名称	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
セコム	50,000	0	0	50,000
サンビーム大久保	280,000	0	0	280,000
ほっと深谷	1,000,000	0	0	1,000,000
合 計	1,330,000	0	0	1,330,000

④長期預金の明細

該当なし

⑤長期有価証券の明細

該当なし

⑤ その他固定資産の明細

(円)

名称	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
京都医療事業協同組合基金積立金	27,404,680	240,000	0	27,644,680
合 計	27,404,680	240,000	0	27,644,680

(3)繰延資産の内容

該当なし

(4)流動負債

①支払手形の明細

該当なし

③未払金の明細 (円)

名称	期末残高
3月末締め翌月支払分	4,118,299
組合債未払利息	366,410
合 計	4,484,709

④未払費用の明細 (円)

名称	期末残高
未払い給与等	5,954,357
合 計	5,954,357

⑤未払法人税等の明細 (円)

名称	期末残高
法人税等	362,000
合 計	362,000

⑥その他の流動負債の明細 (円)

名称	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
	社会保険	1,653,889	1,714,981	61,092
	医労連共済	0	0	0
	その他	2,000	271,499	269,499
	小計	1,655,889	1,986,480	330,591
	出資預り金	270,222	270,942	720
合 計		1,926,111	2,257,422	331,311

(5)固定負債

①長期設備支払手形の明細

該当なし

②長期リース債務の明細

リース明細	リース会社	当期減少	残高	(円)
				備考
医科	JA三井リース	874,800	0	胃カメラ
	ガスヒーポン	791,592	3,232,334	空調設備
	SMTパナソニック	129,600	64,800	給茶機
	シャープファイナンス	227,448	530,712	NTTデジタル交換機
歯科	シャープファイナンス	728,352	364,176	レーザー治療器
	イチネン	290,400	1,379,400	イチネン
	シャープファイナンス	424,440	0	歯科用レセコン
	SMTパナソニック	87,264	0	コピー機
	シャープファイナンス	75,816	176,904	NTTデジタル交換機
ケアステーション	イチネン	422,400	1,196,800	自動車
	SMTパナソニック	87,264	0	コピー機
さぼーと	SMTパナソニック	87,264	0	コピー機
	NTTリース	138,600	1,155,000	NTT UTM
	セゾンリース	88,110	734,250	ルーター
合計		4,453,350	8,834,376	

③ソフトウェア

		当期減少	残高
医科	健診システム	94,608	0
ゲアステーション	ほのぼのシリーズ	183,260	183,260
合計		277,868	183,260

④その他の固定負債の明細

該当なし

2023 年度監査報告書

私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの第31期事業年度の理事の職務執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、日本生協連の定めた生協監事監査の基準に準拠して、他の理事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、理事及び職員等から情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等に出席し理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、損失金処理案）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

1、事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。

2、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類（損失金処理案を除く）及びその附属明細書の監査結果

決算関係書類（損失金処理案を除く）及びその附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 損失金処理案の監査結果

損失金処理案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

3 追記情報

特になし

2024年5月14日
やましろ健康医療生活協同組合

監事 財前 徳三
監事 西村 英夫

第2号議案

2024年度事業計画及び予算決定の件

1. 活動方針・事業計画

【はじめに】

2024年度は医療・介護を取り巻く状況は大きく変わります。4月からの薬価、介護報酬改定に続き、6月には診療報酬改定、介護報酬改定と続きます。医療・介護には、ベースアップを対象とした補助金として、医療機関に支給をされました。しかしながら、その支給対象は全ての従事者を対象にしていません。事業所内で、対象者が分かれ、支給される方とされない方が発生しました。医療・介護の職場で条件の変更に伴い、賃金格差をなお拡大する結果となりました。

社会保険料・介護保険料のアップと、負担金の増額で、国民の医療・介護の環境はより一層厳しいものとなっています。誰もが必要な時に医療・介護のサービスを安心して利用できる条件をつくる事が何より大切です。軍事費を削り、社会保障の充実に転換するための運動を組合員のみならず、関係団体の方々と一緒に作っていきましょう。

【やましろ健康医療生活協同組合の方針】

2023年5月8日より、新型コロナウイルス感染症は2類から5類に変更となりました。多くの医療機関は、この3年間で、感染者への対応が十分に出来ずに、重症化したり、死亡された方々を見ました。介護施設では、コロナ感染に伴う重症者が入院できず「留め置き」となり、施設で亡くなられるという痛ましい状況に、多くの職員が、悔しい思いをしてきました。職員自らも感染したり、家族への感染リスクを避けるため、長期にわたって自宅には帰らずに勤務を続けた職員もいました。2024年9月にやましろ健康医療生協あさくら診療所が開設30年となります。開設当初より、地域の住民の健康増進に取り組んできました。前年度1月に実施した、PFAS検査では、京都大学の支援を受け、87人の方の協力を得て取り組みを進めました。5月以降に専門外来を計画し、協力いただいた方に丁寧な結果説明を予定しています。また、あさくら診療所の賃借している土地の購入に向け準備を進めてきました。資金確保に向け、事業所の黒字化と銀行借入れを実施するとともに、組合員のみなさんに、寄付と出資金の増資を呼び掛けます。

経営環境は、早急に改善する事が求められ、将来に向けた資金確保と事業計画について今年度より計画を予定していきます。組合員についても5000人組合員を早期に達成し、質も量も前進できる力量を蓄積していく事が重要です。

2. 2024年度の委員会方針

【組織委員会】

1. 仲間ふやしは年間50人を目標にします。
2. 総代さんにも依拠しながら班会、懇談会をどのように開催できるか、組合員さんの交流をどのような形で実現できるか考えます。
3. 班は30班を目標にします。
4. 子ども企画は、新型コロナウイルスの感染状況をみながら、夏休みに平和を考える映画会など企画を考えます。
5. 広報委員会と共催のニュース配達員・ボランティア懇親会を開催します。
6. 当医療生協の各委員会との共催企画をすすめます。

【事業委員会】

1. 新型コロナウイルス感染症はまだ終息といえる状況ではないため、診療所のガイドラインに則った感染対策を前提にサークル活動を実施・推進します。うたごえサークルの新たな担い手の探求、参加しやすい形態を追求し日帰りレクの再開をめざします。
2. 第26回やましろ健康まつりについては、午前からの開催、飲食ありで4月21日(日)に開催します。700枚以上のチケット販売をめざします。
3. 8月にサマーコンサートを開催します。
4. 医療生協・診療所開設30周年記念事業に取り組みます。

【社保・平和委員会】

1. 社会保障、医療・介護を守る取り組み

コロナ禍でその脆弱さが露呈したにもかかわらず、「社会保障と税の一体改革」「全世代型社会

保障改革」の名のもと、社会保障・医療・介護制度の改悪がすすめられています。2024年度の診療報酬・介護報酬改定では医療従事者の処遇改善どころか、この間の物価高騰、人件費の上昇分にはまったく届いていません。

2024年度は「学ぶ」取り組みを重視し、学習会・懇談会を開催します。また、ニュースへの記事掲載や行政への申し入れなど新しい活動も検討していきます。

2. 『憲法守れ』の取り組み

憲法の魅力を語り、改悪を許さない取り組み・9条改憲阻止の取り組みを、全国・地域の「9条の会」、他団体とも連帯しながら活動します。また、5月3日の憲法意見広告に取り組みます。

3. 核兵器廃絶と平和を願う取り組み・原水爆禁止世界大会代表派遣と運動

2024年度は情勢を見極めながらも、広島で行われる「原水爆禁止世界大会」へ2名の参加者を送り込むことを目指します。そして、平和行進など核兵器廃絶にむけた運動をすすめ、『核兵器禁止・廃絶のアピール』に取り組みます。ロシアによる核の脅威や混迷する中東情勢の中、改めて核兵器の廃絶がかけがいのない方針であると確認しました。

4. 駅頭宣伝

通算250回が迫る毎月第3金曜日の駅頭宣伝は、引き続き地域の組合員さんと協力しながら行います。定例以外でも情勢に合わせた機敏な実施など、今後の活動方法についても検討します。

5. 委員会の運営と構成について

定例の委員会では学習を柱にしながら運営し、感染対策を施した上で活動を継続していきます。委員会の構成について、総代さんの中からも、新たな委員を広げられるよう工夫します。

【広報委員会】

1. 広報活動は組合員と医療生協をつなぐパイプ役として大切な役割を担っています。京都市以南の京都府内という広い活動エリアを持つやましろ健康医療生協にあっては重要な活動の一つです。より充実したニュース発行にむけて、一層の改善を目指します。
2. 各事業所利用者の増加にもつながるよう、各事業所の事業内容や医療生協ならではの魅力の紹介に力を入れます。
3. 医療生協が身近なものになり、様々な活動への組合員参加が進むよう、これまで同様、健康づくり講座や、健康体操教室、サークル活動、班会、懇談会、組合員の声などを紹介します。
4. 写真を多く使うなど、見やすく親しみやすい紙面づくりを一層心がけます。
5. 医療、介護、福祉などに関する役立つ情報や、その動向と改善・充実を求める運動、さらには原発再稼働反対・原発ゼロをめざす運動、岸田政権がすすめる「戦争する国づくり」、憲法改悪を許さないたたかいなどについても関係委員会の協力をえて引き続き掲載します。
6. ニュースの封入・配達作業など、ニュース発行への一層の参加・協力を呼びかけます。
7. 組織委員会と協力してニュース発行・発送・配達作業やボランティア活動参加者の交流会を開催します。

【健康づくり委員会】

やましろ健康医療生活協同組合の目的は「医療活動を中心にして、組合員の健康と生活を守り文化的経済的改善向上を図ることであり、健康づくり委員会は、その一環として「組合員の求める健康情報や具体的な手段」を下記のような形で行います。

1. 「みんなで楽しく健康づくり2024」は、あさくら診療所内に留まらず地域に出かけて健康講座を行います。組合員に要望を聞いて計画していきます。（年6回程度）
2. チャレンジ私の健康づくり 2024
9月1日～11月30日までの3ヵ月間実施します。
この取り組みを通して、自分の身体や健康について考え、楽しみながら体力・意欲を高めることができるようにしていきます。
今年開設30周年ですのでチャレンジコースを検討し、参加者を増やしていきます。
3. 塩分測定について
減塩の推進を引き続き行い、塩分測定について組合員の意識づけをはかっていきます。
4. 地域の班会・学習会は、「みんなで楽しく健康づくり2024」を含めて組合員の健康増進に努めます。

5. やましろ健康医療生協30周年を記念して、健康づくりの輪を広げる活動に取り組みます。
6. 4月21日（日）の健康まつりに出店します。

【あさくら診療所医科】

スローガンは、高齢者から働き盛りの方を中心に地域の方の生活を支える医療を提供します。糖尿病、高血圧、高脂血症を中心とした慢性疾患医療をしっかりと行います。通院困難な方への在宅医療ニーズに応えます。疾患の早期発見、早期治療のための健診に力を入れます。

1. 慢性疾患は、糖尿病、高血圧、高脂血症を中心に、管理基準を定め、検査計画を患者さんと共有します。院内での疾患教室、地域での学習会や医療懇談会や地域訪問に積極的に取り組みます。
2. 在宅でも検査計画を患者さん、家族と共有し、適切な全身管理ができるようにします。介護事業所とも連絡を密にし、往診時間や頻度を適切に調整します。臨時往診時の迅速な往診や、重症、終末期などの対応も今まで通り行います。
3. 保健予防活動は、予防の為の各種検査であるため、特定健診や事業所健診から高リスクの方を拾い上げ、受診者に受診を勧めフォローにつなげます。特定健診は全体で1000人を目標とします。がん健診(大腸癌健診)は引き続き特定健診の60%以上を目指します。
4. 予防接種の接種人数の拡大をはかります。
5. 通所リハビリは、定期的な看護師カンファレンスで利用者さんの状態を把握して、個々に合わせた必要なリハビリや安全に配慮した援助が行えるよう取り組みます。リハビリを定期的に見直し、理学療法士不在時のリハビリを充実させます。
6. 訪問看護は、利用者さんの病状、性格、生活状況、介護状況などに合わせて看護計画をたて、カンファレンスを行い、分析、修正しながら個々の利用者さんにあった看護を行います。介護者に対しても、介護者の相談にのり、介護負担が軽減できるような提案をします。

【ケアステーションあさくら】

今年度も引き続き、やましろ健康医療生協介護事業、医療事業と連携し、組合員さんが要支援・要介護状態になっても住み慣れた我が家で安心して在宅生活が送れるようなケアプラン作成を心がけます。

1. 今年度は介護保険法改正により、ケアマネジャー一人当たりの担当ケースが、40件から45件に変更されました。ケアステーションあさくらでも1人当たりの担当ケースを45件に増やします。(煩雑な業務を少しでも効率よくできるよう業務内容を見直したいと考えます。)
2. 各病院から退院に向けてのカンファレンスに声がかかるようになってきました。今年度も退院後すぐに支援が受けられるようサービス事業所と連携を取りながらケアプラン作成を行います。
3. 今年度は、新たに北宇治地域包括支援センターと委託業務の契約を行いました。地域包括支援センターとの連携も深めていきます。介護予防のケアプラン作成はもちろん、地域の会議や相談業務も積極的に行います。
4. 22年度より宇治市から認定調査の依頼が再開されています。積極的に認定調査を行います。調査の依頼がない時でも必要時担当ケアマネジャーが認定調査への同席を行います。また、同席しない場合も同席される家族に調査について説明し助言を行いません。
5. やましろ健康医療生協の介護事業で定期的な会議等を開催し情報交換、交流等を図ります。やましろ健康医療生活協同組合全体の学習会等に参加します。また、法人間で情報共有や知識の向上、意見交換等を行い介護保険事業に必要な法令順守の整備に努めます。
6. 外部の様々な研修や学習会へ積極的に参加し、ケアマネジャーとしてのスキルアップに繋がります。民医連のケアマネジャー委員会へ参加し、情報交換や法令順守の整備を行います。民医連での介護事業部の取組(介護ウェブや学習会等)にも積極的に参加します。

【さぼーと ゆう・ゆう・ゆう】

1. 選ばれる事業所の実践を引き続き行います。
2. BCPの見直し、改善、シュミレーションしアップデートをしながらより良いBCPマニュアルを構築します *BCP：感染拡大時、自然災害時の業務継続計画
3. 利用者さんの健康と生活を維持し、支え、守るためには、多職種連携、組合員さんや地域との連携が重要です。連携し協力を深める努力をしていきます。
4. 民医連の介護福祉部会、ヘルパーステーション委員会の参加や城陽市訪問介護連絡会、包括主催のケア会議、社会福祉協議会や関連事業所、市役所関連の会議など積極的に参加し、意見交流や情報共有に努めます。
5. 介護保険法に基づいての管理体制の向上を実施します。また、例会とあわせて、事務所内の会議を重視した運営を目指します。
6. やましろ健康医療生協ニュースの記事に活動の様子や様々な介護に関することについての問題提起など積極的に周知していきます。
7. 職員のスキルアップ、介護能力向上のため、月1回の研修とさらに個人の年間研修計画の材料としてYouTubeやS-QUEクリニカルラダー別研修プログラムの活用を実践します。
8. 民医連の介護・福祉部・57期で掲げている4つの柱の中にもある、『介護・福祉の現場では「まずみる・寄り添う・支援する・なんとかする」の視点で無差別・平等の実践を進めましょう。法令遵守や接遇、利用者・地域からのニーズを見極めるなど多方面から捉える視点を養いましょう』を「さぼーと」職員間でも共有し理解し実践できるように努力します

【あさくら診療所歯科】

1. 健康に対する関心や不安もさらに高まる中、金銭的理由や高齢化による通院の困難化により受診を控えた結果、疾病の重症化が目立つようになってきています。医療生協としての立場を明確にしながらいっそう地域との信頼関係をより強く築いていきます。
2. 歯科医師体制に大きな変更がある中で患者さんの受療権を守るよう目指します。歯科医師を中心に安定した歯科医療が行えるよう、各職種間の連携を密にし、全体で情報共有を図り、患者さんに良い歯科医療が提供できるよう努めます。
3. 医療生協の特性を活用した地域での活動など幅の広い視野が求められ、医科歯科が同じフロアにあるという利点も最大に活用して、特徴ある医療の展開が最大の課題です。
4. 外来への来院が難しい患者さんに対し、訪問診療にも力を入れていきます。医科やさぼーとゆう・ゆう・ゆう、ケアステーションあさくらと連携を取り、通院が困難な患者さんの歯科治療を行っていきます。口腔ケアをはじめ、義歯作製・調整、虫歯治療、歯周病治療など、外来で出来る治療を在宅、施設でも提供出来るよう取り組んでいきます。
5. 歯科用金属価格は高止まり状態であることに加え物価上昇に歯止めがきかず、経営の圧迫の大きな要因となっています。コストダウンにつながる新商品への変更、無駄のない在庫管理、支出の削減等にも引き続き努めていきます。
6. 国際情勢の変化や為替と経済の影響が暮らしを圧迫している中、患者さんが安心して受診できるように、制度の案内に努めていきたいと思えます。各種患者提供書面の更新もおこない、患者さんにより分かりやすい情報提供をしていきます。

【介護事業委員会】

1. 毎月会議を開催し京都民医連介護福祉部や国、京都府、市町村からの情報の共有、法人、各事業所の取り組み状況の報告、意見交換を行い、各事業のサービス向上や経営課題等も共通の認識としやましろ健康医療生協の医療・介護事業の連携を強化します。
2. 保険者への各種届出や運営指導、自主点検等、全事業法令遵守に務めます。感染拡大時・自然災害時の事業継続計画（BCP）を見直します。訓練を行いアップデートを続けます。
3. やましろ健康医療生協ニュースに介護事業関連記事の掲載を継続します。記事の内容については介護事業委員会でも検討し組合員さんの介護についての関心や知識が高められるような記事を掲載します。

4. eラーニングの活用や研修、学習会等に参加し学びを深め職員の質の向上を目指します。
5. 介護事業と医科・歯科の連携を深めるための学習会や事例検討会等を企画します。
6. 京都民医連介護福祉部や各委員会に参加し、情報の共有や法令順守についての取り組み、学習会等へ参加します。京都民医連が行う介護福祉部の取り組み（介護ウェブ、署名活動、各種学習会参加等）へ積極的に参加します。また、やましろ健康医療生協での署名活動等の目標を設定し達成できるよう積極的に取り組みます。
7. 京都民医連介護福祉部の方針、提案をやましろ健康医療生協で共有し取り組んでいきます。

【事業予算】

	事業所別予算案(2024年度)												(千円)	
	医科・ケアステーション			歯科			さぼ一と			生協本部			合計	
	予算	前年度実績	前年度比	予算	前年度実績	前年度比	予算	前年度実績	前年度比	予算	前年度実績	前年度比	予算	前年度実績
外来収益	130,428	118,913	109.7%	92,956	89,943	103.3%						223,384	208,856	107.0%
在宅収益	39,510	49,158	80.4%	10,328	12,100	85.4%						49,838	61,258	
外来・在宅	169,938	168,071	101.1%	103,284	102,043	101.2%						273,222	270,114	
健診収益	13,340	12,950	103.0%		0							13,340	12,950	103.0%
ワクチン	6,020	5,642	106.7%		0							6,020	5,642	106.7%
保険等査定減		-415			0							0	-415	0.0%
医療事業収益	203,061	187,803	108.1%	103,284	101,763	101.5%						306,345	289,566	105.8%
訪問サービス収益	1,716	1,596	107.5%				32,373	30,295	106.9%			34,089	31,891	106.9%
通所居宅サービス	11,640	11,475	101.4%	1,284	1,344	95.5%						12,924	12,819	100.8%
その他介護収益	10,080	13,051	77.2%				120	105	114.3%			10,200	13,156	77.5%
福祉事業収益	23,436	26,122	89.7%	1,284	1,344	95.5%	32,493	30,400	106.9%			57,213	57,866	98.9%
医療福祉等附帯事業収益	0	0	#DIV/0!	2,292	2,588	88.6%	0	0		536	542	2,828	3,130	90.4%
事業収益	226,497	213,925	105.9%	106,860	105,695	101.1%	32,493	30,400	106.9%	536	542	366,386	350,562	104.5%
給与	105,682	111,179	95.1%	49,302	61,052	80.8%	22,350	22,542	99.1%	9,060	0	186,394	194,773	95.7%
賞与引当金繰入	13,067	12,544	104.2%	7,668	9,865	77.7%	1,716	1,492	115.0%			22,451	23,901	93.9%
退職引当金繰入	3,108	5,070	61.3%	2,916	3,209	90.9%	159	497	32.0%			6,183	8,776	70.5%
法定福利費	14,558	15,693	92.8%	6,936	9,478	73.2%	1,004	994	101.0%	1,332	0	23,830	26,165	91.1%
出向人件費	0	385	0.0%	0	-2,184	0.0%				144	126	144	-1,673	-8.6%
人件費	136,415	143,672	94.9%	66,822	82,619	80.9%	25,229	25,525	98.8%	10,536	126	239,002	251,942	94.9%
医薬品費	31,608	27,752	113.9%	384	289	132.9%	0	0				31,992	28,041	114.1%
診療材料費	5,302	5,485	96.7%	10,320	7,245	142.4%	0					15,622	12,730	122.7%
材料費	36,910	33,237	111.1%	10,704	7,534	142.1%	0	0				47,614	40,771	116.8%
検査委託費	8,621	7,922	108.8%		0		0	0				8,621	7,922	108.8%
歯科技工委託費				6,000	5,464	109.8%						6,000	5,464	109.8%
清掃委託費	660	660	100.0%		0							660	660	100.0%
その他委託費	13	0										13	0	
委託費	9,294	8,595	108.1%	6,000	5,464	109.8%	0	0		0		15,294	14,059	108.8%
経費	20,516	23,566	87.1%	8,868	5,354	165.6%	2,880	2,733	105.4%	4,052	4,673	36,316	36,326	100.0%
附帯事業費用				0	1,553	0.0%				379	352	379	1,905	19.9%
リース料	2,556	1,669	153.1%	1,620	1,558	104.0%	600	236	254.2%	317	0	5,093	3,463	147.1%
減価償却費	5,940	4,533	131.0%	4,104	2,351	174.6%	174	79	220.3%	36	478	10,254	7,441	137.8%
本部費	10,668	2,100	508.0%	3,720	1,380	269.6%	2,340	1,020	229.4%	-16,728	-4,500	0	0	
消費税										2,090	1,472	2,090	1,472	
事業費用	222,299	217,372	102.3%	101,838	107,813	94.5%	31,223	29,593	105.5%	10,390	2,239	365,750	357,017	102.4%
事業利益	4,198	-3,447	-121.8%	5,022	-2,118	-237.1%	1,270	807	157.4%	-146	-1,697	10,344	-6,455	-160.2%
事業外収益	340	911	37.3%	850	2,496	34.1%	120	120	100.0%	62	60	1,372	3,587	38.2%
事業外費用		0								60	64	60	64	93.8%
経常損益	4,538	-2,536	-178.9%	5,872	378	1553.4%	1,390	927	149.9%	-144	-1,700	11,656	-2,931	-397.7%
特別利益												0	10	
特別損失	0				723					0	0	0	723	
税引前損益	4,538	-2,536	-178.9%	5,872	-344	-1707.0%	1,390	927	149.9%	-144	-2,056	11,656	-4,009	-290.7%

【あひくろ診療所医科】

【医科】

1. 収益

・患者さん、国民を取りまく社会情勢の悪化、特に、医療・介護分野では政府は、さらなる国民負担と、給付削減などの政策を出しています。受療権を確保する取り組みをおこなっていきます。

今年度の診療報酬、介護報酬改定は、特に、診療所にとってマイナス幅が大きく、且つ、医師をはじめ、職種問わず、事務作業が膨大な内容となっています。政府は、「経営良好な診療所、経営危機の病院」との歪んだ印象操作を行い、今回改定では、診療所の診療報酬改定本体部分までマイナス改定としました。圧倒的多数である、高血圧、高脂血症、糖尿病患者さんへの診療報酬は「生活習慣病」へと移行し、事務的な作業の増加や点数の切り捨てが行われます。この改定で、保団連試算では、平均年223万円の引き下げと発表しました。

「かかりつけ医」機能の有無で評価選別をすすめ、マイナンバーカードの保険証利用を軸とした加算の点数の創設も行われます。

在宅医療では、同一建物・単一建物の人数による診療報酬点数がさらに細分化され、点数は引き下げられます。「多数回・高頻度の訪問診療（月平均4回以上）を実施する医療機関が存在し、これらの医療機関は往診、看取りが少ない、高血圧やアルツハイマー型認知症等の患者が多い」などを理由に過去3ヶ月の患者1人あたり訪問診療回数が月平均で12回超の場合の、同一患者への月5回目以降の訪問診療の点数は半分となります（死亡・新規・末期の悪性腫瘍は除く）。

また、直近3ヶ月の訪問診療の算定回数が2100回超の医療機関は、単一建物診療患者10人以上の場合の管理料が60/100に減算されます。訪問診療の件数のみに着目したペナルティともいえる内容となっています。

新設された、外来・在宅ベースアップ評価料は、医療従事者の賃上げ対応分としていますが、全職員の賃金総額の詳細な計算、改善計画の作成、厚労省への定期的な報告が義務付けられています。しかも、この評価料には、そもそも事務職員は対象外となるなどの矛盾もあります。

当医療生協30周年の今季、様々な取り組みを全職員で行い総代さんや組合員さん、理事のみなさんの力も借りながら前進をはかりたいと考えています。

- ・外来では、消化器（西田先生）、循環器（池野先生）、神経内科（平松先生）、肛門内科（倉田先生）の専門的医療を充実させ、在宅患者さん合わせ、又、毎月1,000件以上、1日平均患者数65人以上としました。
- ・特定健診の宇治、城陽、久御山は980件以上、被扶養者健診・国保組合健診を合わせて1,000件を目標とします。事業所健診は前年実績とします。健康な方は健康を維持でき、病気がある方はその病気を重篤化させないよう個別に合わせた支援をおこないます。健診後のあさくらフォローは80人を目標とします。
- ・外来は、慢性疾患医療を柱に、引き続き、重症度に応じて、合併症予防とがんの早期発見を目的に検査計画をたてます。
- ・在宅医療はひと月の患者件数60人以上、延べ患者数140人とし、治療計画書を在宅の患者さんにも適用して全身管理の制度を高めます。介護にあたっている家族の健康状態や、介護負担などにも配慮していきます。
- ・介護事業として、通所リハビリは、理学療法士がいる利点を活かした個別リハビリにも力を入れるとともに集団での作業にも工夫を行っていきます。通所リハビリはひと月の利用者数17人、延べ利用者数80人としました。
- ・訪問看護は主治医の指示のもと、利用者さんの病状、性格、生活状況、介護状況等に合わせて看護計画をたて看護を行います。
- ・その他の医療収益の多くはワクチン接種となります。高齢者の肺炎球菌ワクチンは、24年度は国の方針で65歳のみとなります。接種者数は減少が見込まれます。インフルエンザワクチンは、一人でも多くの患者さん、組合員さんに接種してもらえよう価格設定を再考します。その他、子どもワクチン、新型コロナワクチン、带状疱疹ワクチンなどで予算を組みました。

2. 支出

- ・材料費の医薬品は、これまで、外来収益比の前年実績10%、診療材料費は2.0%でした。昨年、医薬品、診療材料費はジェネリック医薬品のみならず、入荷困難や仕入れ値の高騰もあり、昨年実績で医薬品は医療収益の16%、診療材料費は2.6%で予算化しました。薬剤は京医協と相談しながら、

患者さんの負担金軽減の立場からもジェネリック医薬品への採用を追求します。

- ・検査委託費は京都民医連統一価格となりこれまでよりも低く抑えられています。外来収益と健診収益の合計比で昨年同様の年平均 5.0%実績をあてはめました。
- ・医薬品も含めた費用は全て消費税がかかります。全ての経費で節電、節約をはじめ職員全員で智恵を出し合い削減に努めます。

【さぼーと ゆう・ゆう・ゆう】

1. 収益

- ・利用者件数・訪問回数は、2024年1月～3月実績と4月の見込みを基礎に算定しました。
- ・近年、要支援者の状態悪化などによる入院・入所や要介護になられる方が多いことを想定して、利用者確保とヘルパー体制のバランスを見ながら、居宅支援事業所と情報交換を密にし、新規利用者の依頼につながる様に連携します。
- ・現在の利用者の状態悪化等による介護認定区分の変更などの際、サービス提供の在り方について、利用者や家族の要望に寄り添いながら、具体的な事例に応じて丁寧に対応します。

2. 支出

- ・人件費は、利用件数・訪問回数に対応して算定しました。管理者とサービス提供責任者-常勤 1・非常勤 2 で算定しました。
- ・徹底した経費削減。
- ・賃借料・諸会費等の固定額以外の支出については、削減できるよう引き続き工夫します。

【あさくら診療所歯科】

1. 収益

- ・今期は歯科医師が2人となり歯科医師単位が減少しますが、常勤歯科衛生士を1人充足できたため歯科衛生士単位が増加します。その様な中で、効率的な予約の取り方を工夫し、リコール・中断電話かけ、および事前電話かけなどを活用し、予約状況の改善を行い、1日平均患者数は50人とします。
- ・歯科用金属の価格が高止まりし、経営の圧迫の大きな要因となっています。治療中心の歯科医療ではなく治療の後のケア、および全身の健康を守るための口腔機能の維持のための医療活動にシフトし、そのうえでの安定的な運営と経営を行っていきます。
- ・施設基準の取得を目指し経営の安定化を図るとともに、基準に見合う医療を提供し患者さんに還元していきます。具体的には生涯を通じた口腔の健康の維持に寄与する「口腔機能管理体制強化加算」や院内感染防止策を評価する「外来感染対策向上加算」などが対象です。
- ・物品販売では、組合員限定セールや患者さんに合わせた商品の提案により、23年度は大きく増加しました。セルフケア商品の入れ替えなどをすすめ、患者さんに提案していきます。
- ・在宅医療収入は前年度平均、総収入の10%でした。診療報酬改定により、治療、滞在時間が20分という「しぼり」が一部解除されたものの、診療の特性上1回の件数に限りがでます。通院できない患者さんへの治療の為、単位工夫など行って件数増を目指します。
- ・介護保険収入は全体の1%ですが、23年度より大きく増加しています。

2. 支出

- ・人件費は歯科医師1人の退職によりマイナスとします。出向関係は今年度の支援が予定されていないため0円としました。
- ・材料費は医薬品費と診療材料費は物価上昇を鑑み、実績より上積しました。購入先の変更や再見積もり、在庫管理を徹底しコスト削減に努めます。
- ・技工委託費は委託料の値上がり傾向があるものの、医師体制減による補綴量減少見込みと合わせ、前年実績で予算を組みました。
- ・民医連統一会計に則り事業所別会計としたため、各種経費や本部費を計上しました。

第3号議案

あさくら診療所土地取得の件

1991年9月から賃貸契約をしていました、標記土地(あさくら診療所)について、購入を提案いたします。

宇治市大久保町山ノ内19-1 1,911 m²

宇治市大久保町山ノ内20-8 45.63m²

所有者と交渉を進めていきます。購入に際し、銀行借入れは、返済可能な金額を借入れます。組合員に寄付・出資金の増資等を依頼し、その金額により銀行借入れの返済に充当いたします。

第4号議案

役員選任の件

	役職	氏名	住所	略歴等
留	理事	井上 孝司	久御山町	組織委員
新	理事	岡本 やすよ	城陽市	社保委員
留	理事	奥谷 よし子	宇治市	事業委員
留	理事	河本 一成	宇治市	あさくら診療所管理者
留	理事	桑原 国隆	宇治市	事業委員
新	理事	上坂 光彦	向日市	あさくら診療所事務長・組織委員
留	理事	小松 正明	宇治市	広報委員会責任者
留	理事	杉山 潔志	城陽市	京都南法律事務所弁護士
留	理事	滝澤 松代	城陽市	健康づくり委員
留	理事	堂本 吉次	京都市	専務理事
留	理事	中根 誠喜	宇治市	事業委員
留	理事	能塚 耐子	城陽市	健康づくり委員
留	理事	平林 英男	宇治市	社保平和委員
留	理事	宮本 繁夫	宇治市	常務理事・事業委員会責任者
留	理事	村松 秀一	城陽市	社保平和委員
留	理事	森山 正博	宇治市	広報委員
留	理事	山崎 恭一	宇治市	社保平和委員会責任者
留	理事	山崎 映子	宇治市	組織委員
留	理事	藪田 秀雄	宇治市	広報委員
留	理事	山本 いつみ	宇治市	組織委員
留	理事	湯口 典子	宇治市	健康づくり委員会責任者

留	理事	若山 憲子	城陽市	組織委員
留	監事	財前 徳三	城陽市	京都民医連あすかい病院臨床検査技師
留	監事	西村 英夫	京都市	

第5号議案

役員報酬決定の件

2024年度の役員報酬は、使用人兼務理事の職員分給与を除いて、下記の範囲とし、報酬額・支給方法は理事会に一任をお願いします。

- (1) 理事 総額 28,000 千円以内
- (2) 監事 無

資料：やましろ健康医療生活協同組合の「役員報酬等に関する規則」

(目的)

第1条 この規則は、定款第28条にもとづき、役員報酬及び退職金の算定方法に関する事項を定める。

(適用)

第2条 この規則にいう役員は、定款第20条に定める役員をいう。

2 兼務役員については、第4条を適用しない。

(報酬支給額の決定)

第3条 役員報酬は、総代会が決定した役員報酬総額の限度内で、各役員に就いて定めるものとし、理事会でこれを決定する。

2 常勤役員については、賃金規定及び京都民主医療機関労働組合との賃金改定に関する協定書並びに一時金の支給に関する協定にもとづき算出した報酬額を基本とする。

(役員報酬支給方法)

第4条 役員報酬は、前条にもとづき年額を定め、その12分の1の金額を、毎月賃金規定に定める支給日に支給する。

(役員退職金の決定)

第5条 役員退職金は、京都民医連退職金規定及び京都民主医療機関労働組合との退職金に関する労働協約に準じて役員退職金額を算出する。

2 理事会は、前項にもとづき算出した金額により役員退職金を決定する。

3 理事会は、役員が定款第27条により解任された場合、あるいは定款第25条に定める役員に違反し、又は組合の信用を害したことにより退任した場合は、役員退職金を減額又は支給しないことを決定することができる。

(役員退職金の支給方法)

第6条 役員退職金の支給方法は、総代会の議決後より1ヶ月以内に、通貨あるいは金融機関への振り込みにより支給する。

2 役員退職金の支給方法に関する他の事項については、京都民医連退職金規定による。

(改廃)

第7条 この規則の改廃は、理事会において出席した理事の3分の2以上の多数による議決を要する。

附 則 (施行期日) この規則は2009年3月21日から施行する。

第6号議案 議案議決効力発生の際

官庁への届出について、議決の趣旨に反しない範囲での字句修正は理事会に一任をします。